

阿武郡報

大正五年十月二十日
第五十號

目次

- | | | | | |
|---|-------------------------------|---|--|--|
| 勸業 | 事務 | 學務 | 庶務 | 官廳辭令 |
| ◎幼年學校生徒採用
◎畜牛品評會成績
◎種牡牛檢查成績
◎町村別畜牛種付數
◎大正五年度村農會費徵收狀況
◎米作豫想
◎夏蠶繭共同販賣狀況
◎夏密柑調查會
◎酒造組合總會
◎醬油釀造講習會 | ◎軍事講演
◎つるぎ號飛行
◎在郷將校兵棋演習 | ◎縣稅主任集會
◎小學校長集會
◎阿武郡教育會事業
◎教育品展覽會
◎史蹟保存會設立
◎小學校兒童聯合體育會
◎報德會組織懇談會
◎兒童出席步合順位
◎郡立萩圖書館內閱覽狀況
◎郡立實科高等女學校近況 | ◎神職集會
◎郡長巡視
◎出納檢閱
◎神社例祭
◎神社幣帛料供進指定
◎郡有造林ノ近況
◎コレラ、セキリ、チヨウチブス豫防心得
◎傳染病患者表
◎衛生講話會 | ◎郡吏員異動
◎町村吏員異動
◎小學校教員異動
◎神職異動 |

阿武郡報

第十五號

◎官廳辭令

◎郡吏員異動

阿武郡役所雇 原 鐵 三
 月俸八圓給與
 依願解雇（九月廿一日）
 岩崎 芳 彦
 阿武郡役所雇ヲ命ス
 月俸十圓給與（十月十日）
 雇 山本 莊 輔
 月俸十四圓給與（十月十日）
 雇 阿武 道 輔
 月俸拾壹圓給與（全）

◎町村吏員異動

退職ノ部		就職ノ部	
退職月日	村名	就職月日	村名
九月十九日	田万崎村	九月二十日	田万崎村
	職名 氏名		職名 氏名
	村長 岡崎 義 式		村長 金山 喜 太郎

◎小學校教員異動

新任ノ部		轉任ノ部			
新任月日	校名	職名	俸給	氏名	
八月十六日	大井	准訓導	六級下俸	小野 俊助	
九月三日	椿東	准訓導	九圓	笹井 怡美	
九月十一日	地福	訓導	五級下俸	小河 吉郎	
全	川上	全	十級下俸	重松 幸江	
九月十三日	明木	准訓導	拾貳圓	中村 豊人	
全	育英	全	九圓	松原 淨二	
全	越ヶ濱	全	九圓	武田 敬明	
九月十八日	大島	准訓導	六級上俸	藤山 徳一	
轉任月日	轉任校	舊任校	職名	俸給	氏名
九月十一日	椿東	木訓導	導九級上俸	三村 衆一	

退職ノ部

退職月日	退職事由	校名	職名	氏名
九月十八日	一身上ノ都合	明木	訓導	多田 義正
九月十八日	教員配置上ノ都合	大島	准訓導	末若 市藏

◎神職異動

退職ノ部		就職ノ部	
退職月日	社名	社名	氏名
八月三十日	篠生村々社 佃野神社	柴崎淀治	
九月廿二日	篠生村々社 佃野神社 (七級俸)	柴崎悦雄	

◎庶務

一人ノ利害ハ一國ノ利害ト一致ス

◎神職集會

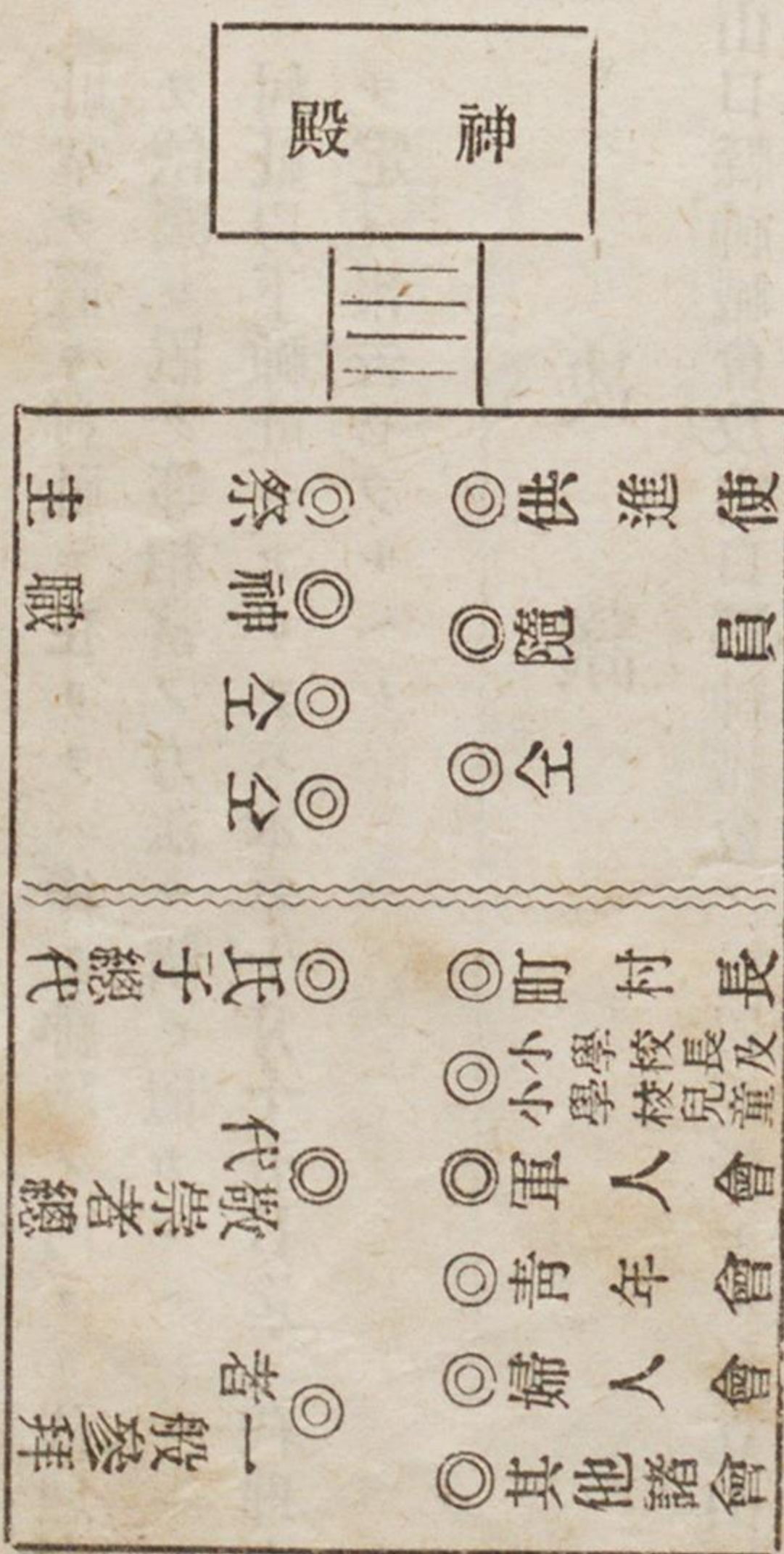
本年九月八日郡内各神職ヲ召集シ左ノ事項ニ關シ郡長ヨリ詳細示達スルトコロアリタリ又郡神職會ハコノ會合ニ於テ豫テ縣下神職界ノ一問題タル山口縣神職會ノ刷新並ニ之レカ附帶事業タル私立山口國學院ノ内容改善ニ關シ協議ヲ遂ケ左ノ決議ヲナセリ

指示事項

一 神職奉務ニ關スル件
郡内神職ニシテ往々自治團體ノ選舉ニ干與シテ其ノ職責ヲ顧ミサルモノ或ハ平素ノ操行不良ニシテ兎角ノ風評ヲ生ミ世人ノ指彈ヲ受クルモノアルガ如キハ本職ノ最モ遺憾トスル所ナリ各位ハ奉務規則ノ示ス

二 神社祭典ニ關スル件

所ニヨリ平素國典ヲ修メ國體ヲ辨シ操行ヲ正シクシテ以テ其ノ本務ヲ盡シ國家ノ宗祀ニ從フヘキ職司ヲ完フスルニ遺憾ナキヲ期セラレヘシ
神社ノ祭典ハ祭祀令神社祭式等成規ノ示ス處ニ基キ最モ嚴肅ニ執行スヘキハ勿論ナリト雖公益團體其他一般參拜者ヲシテ嚴肅ニ行ハル祭典ヲ拜觀セシムルハ唯ニ祭祀ノ意義ヲ了解セシムルノミナラス敬神崇祖ノ觀念ヲ涵養セシムル上ニ必要ナルコト、信スルヲ以テ各位能ク此ノ意ヲ体シ社殿ノ許ス範圍ニ於テ祭祀ニ關係ナキ者等、雖概ネ左ノ順序ニ依リ適宜ノ場所ヘ參列禮拜セシメラレヘシ



三 神社會計検査ノ件

從來神社ノ會計検査ハ其ノ検査月日ヲ豫報シテ検査
ヲナシタルモ今後ハ町村出納検査ノ例ニ依リ検査月
日ヲ豫報セシメ検査スルコトアルヲ以テ各位ハ常ニ會
計事務ノ整頓ヲ期スルト共ニ亦常ニ財産ノ所在ヲ明
カニシ遺漏ナキ様留意スヘシ

四 神社決算並資金明細書ノ件

神社決算並資金明細書ハ翌年五月三十一日迄ニ報告
セラルヘキ筈ナルニ其ノ期限内ニ到達スヘキモノ頗
ル少數ナルハ甚ダ遺憾トスルコトコトナリ居常會計ノ
整理ヲ確實ニシ進達書類ノ如キ最モ正確ナ期シ報告
期限ヲ愆マルコトナキヤウ特ニ留意セラルヘシ

五 社用掛ニ關スル件

社用掛ハ神社制度ニ之ヲ認メタルモノニアラスシテ
單ニ事務ノ補助ヲ爲サシムル爲メ便宜ニ設ケタル
モノニ過キサルナリ然ルニ往々社用掛ニ祭典ノ執行
ヲ一任シテ顧サルモノアルヤニ聞ク果シテ如斯モノ
アリトセンカ違法ノ甚ダシキモノノミナラス神社ノ
尊嚴ヲ瀆スコト大ナリト謂フヘシ故ニ各位ハ自今事
故アル場合之ニ處スルノ方法トシテ郷社ニ在リテハ

社掌ヲ置キ村社ニ在リテハ像テ神職ノ内ヨリ代理者
ヲ依囑シ置ク等相當ノ方法ヲ講シ置カルヘシ
村社以下神社ニアリテハ本年十月十五日迄ニ代理者
ヲ定メ報告セラルヘシ

決 議

山口縣神職會及山口縣神職會ノ設置經營セル私立山口
國學院中學ハ其ノ内容ニ於テ改善刷新ヲ促スノ必要ア
リ本郡神職會ハ凡ソ左記事項ニ基キ慎重ナル態度ヲ以
テ組織ノ改善ヲ促シ經費ノ經減ヲ現實ニシ以テ山口縣
神職會多年ノ懸案ヲ決定シ會員一致協力ノ實ヲ擧ケ會
運ノ隆昌ヲ圖ルニ努力センコトヲ期ス

大正五年九月八日

阿武郡神職會

一 山口縣神職會組織變更ニ關スル件

一 山口縣神職會ノ法人ヲ解散シ新ニ山口縣神職會ヲ
組織シ事務所ヲ山口縣廳内ニ置クコト

二 新ニ組織スヘキ山口縣神職會ノ役員ヲ左ノ如ク定
ムルコト

會長一名 副會長二名 幹事若干名 書記一名

山口縣知事閣下ヲ總裁ニ推戴シ山口縣内務部長ヲ
會長ニ仰キ副會長一名ハ山口縣事務官ニ依囑シ一
名ハ神職中ヨリ推選スルコト

幹事書記ハ會長ニ於テ之ヲ任免スルコト

三 山口縣神職會ノ支部ヲ廢止シ郡市神職會ト聯絡ヲ
採ルコト

四 評議員ハ十二名トシ各郡市ヨリ一名宛選舉シ評議
員會ノ會期ハ二日以内トスルコト

五 山口縣神職會ノ經費ハ會員數ニ依リ各郡市神職會
ニ分賦シ各郡市神職會ニ於テ之ヲ徵收納付スルモ
ノトス

二 私立山口國學院中學組織變更ニ關スル件

教員養成部ハ現在生徒卒業ニ至ル迄存續シ其ノ後ハ
之ヲ廢止シ專ラ本科生(神職養成)ノミノ教養ヲ爲ス
コト
本科生徒ノ入學資格ハ中學校三年修業ノ者若ハ之レ
ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トシ其ノ修業年限ハ一
箇年トス

◎ 郡長巡視

本年十月十七日迄ニ郡長ノ巡視ヲ爲シタル町村ハ須佐
村外十五ヶ村ニシテ其ノ他未了町村ニ就テハ遅クモ本
年十一月末迄ニ行ヒ全町村ノ巡視ヲ了スヘシ

五月十七日	須佐村
五月十八日	田万崎村
五月二十日	地福村
五月廿一日	德佐村
五月廿二日	篠生村
五月廿三日	生雲村
五月廿四日	福川村
五月廿五日	山田村
六月五日	三見村
六月八日	彌富村
九月廿五日	小川村
九月廿六日	嘉年村
九月廿九日	紫福村
十月十二日	福賀村
十月十三日	高俣村
十月十四日	吉部村
十月十五日	
十月十六日	

◎出納檢閲

本年十月十二日迄ニ出納檢閲了シタル町村ハ六島村
外十ヶ村ニシテ其ノ出納檢閲月日村名左ノ如シ

七月四日	六島村
八月十七日	大井村
八月十八日	奈古村
八月十九日	宇田郷村
七月廿七日	吉部村
七月廿八日	高俣村
七月廿九日	嘉年村
十月五日	椿郷東分村
十月六日	三見村
十月七日	山田村
十月九日	川上村

◎神社例祭

縣社及郷社ノ例祭左ノ如シ

十月六日	萩町 春日神社(町田屬代參)
------	----------------

六號ニヨリ本年九月廿二日付ヲ以テ神饌幣帛料ヲ供進
スヘキ神社タルコトヲ指定セラレタリ

◎郡有造林ノ近況

本郡有造林ハ彌富村三十九町九反一畝二十歩、嘉年村
六十一町五反五畝歩、大井村五町六反六畝二十歩ニシ
テ大正三年度ヨリ五十四年間地上權ヲ設定シ杉扁柏雜
木竹ヲ植栽スルノ計畫ナルカ本年九月廿九日嘉年村ニ
於ケル該造林ノ實況ヲ見ルニ昨年植付シタル杉木既ニ
六尺余ニ達セルモノアルカ如ク成育ノ狀尙甚タ良好ニ
シテ其ノ他彌富、大井村ニ計畫實施セルモノモ亦豫定
以上ノ好成绩ヲ收メツ、アリ

◎「コレラ」セキリ「チヤウチブス」豫防
ノ心得

(一)「コレラ」ハドンナ病氣カ
「コレラ」ハ非常ニ恐シイ傳染病デアリマス病芽ガ人
身ニ入レバ二三日後劇シク嘔吐下痢ヲ起シ身体ノ水
分ヲ失フカラ手足ハ冷ヘ言葉ハ嘔レ尿通ハ止ミ胸苦

十月十四日	椿村 椿八幡宮(山田書記代參)
十月十五日	萩町志都岐山神社(山田書記代參)
十一月廿一日	椿郷東分村松陰神社(未定)

郷社ノ部

八月三日	萩町 住吉神社(郡長參拜)
九月十二日	六島村 八幡宮(郡長參拜)
九月二十日	紫福村 八幡宮(大井書記代參)
九月廿二日	奈古村 八幡宮(郡長參拜)
九月廿八日	德佐村 八幡宮(郡長參拜)
九月廿九日	見島村 見島神社(厚東郡書記代參)
九月三十日	吉部村 八幡宮(郡長參拜)
九月三十日	須佐村松崎八幡宮(山田書記代參)
十月三日	福川村 八幡宮(郡長參拜)
十月四日	生雲村 八幡宮(山田書記代參)
十月十六日	三見村 八幡宮(齋藤書記代參)
十月廿九日	佐々並村六所神社(郡長參拜)

◎神饌幣帛料供進指定

紫福村村社小西見八幡宮ハ明治卅九年四月勅令第九十

シク非常ニ渴キ神識朦朧トシテ衰弱シ重症ハ死ンデ
仕舞マス
輕症モノハ數度ノ嘔吐下痢ヲシテ自ラ治リマス

(二)「セキリ」ハドンナ病氣カ

「セキリ」ハ恐シイ傳染病デアリマス病芽ガ身体ニ入
ルト俄カニ下痢シタリ、ガシ熱テ下痢シマス、ソレ
カラ腹ガ痛ミテハ大便ガ出シタクナリ度々行マスガ
一度ニハ大便ガ多量ニ出マセン下痢物ハ蛙卵様デ血
ガ混ツタリ時ニハ膿ガ混テ白様ナコトモアリマス、
カヤウナ大便ガ何度モ少シツ、出マスカラ肛門ハ痛
ミ身体ガ疲勞貧血シ重症ノハ死ニマス、輕症ハ數日
デ治リマス

(三)「チヤウチブス」ハドンナ病氣カ

「チヤウチブス」ハ非常ニ熱ガ長クアル傳染病デアリ
マス「チヤウチブス」ノ病芽ガ身体ニ入ルト數日間惡
寒ガシテ頭痛ガ起リ身体ノ所々痛ミ食慾モ減リ日々
熱ガ高マリマス、病始メカラ十四日過ギ頃ガ最高熱
ニナリマシテ精神、昏朦騰語ヲ云ヒマス重症ハ二十
一日頃腸ガ心臟ノ病變デ死ニマス治癒スルモノハ日
々熱ガ下リマシテ三四十日位ニハ治リマス

(四)「コレラ」ノ病芽ハドコニ在ルカ
 「コレラ」ノ病芽ハ今頃ノ様ニ交通ガ便利ニナリマシ
 タ爲四方ニ廣ガリマシテ近年ハ熱帶地方デハ殆ソド
 絶ヘタコトハアリマセシ此様ニ流行地カラ來ル舟ニ
 ハ病芽デ汚サレタ荷物モ人モ港ヘ揚ダマスカラ今度ハ港
 マスト汚シタ荷物モ人モ港ヘ揚ダマスカラ今度ハ港
 ノ人々ニ傳染シテ段々内地ニ廣ガルノデアリマス
 人ニハドウシテ傳染スルカ

(五)「コレラ」セキリ「病人」ノ糞便、吐物中ヤ「チヤウチブス」
 「病人」ノ大小便、咯痰中ニ各々病芽ガ居ルカラ直接
 人カラ人ニ傳染リマスガ多クノ病芽ガ種々ノ飲食物
 器具ニ附着シタノガ人ノ口ヘ侵入リマス
 ソレデ病人ノ吐瀉物ニ觸レタ手デ飲食物、器具ヲ取
 扱フカ嘗ムルカ或ハ病人ノ吐瀉物、汚穢衣服、寢具
 ノ洗濯水等ガ飲料水、使用水ニ侵入シテ此水ヲ飲ミ
 タリ使用シタリスル者ニ感染シマス
 (六)「コレラ」セキリ「チヤウチブス」ニ罹ラナイヨウ
 ニハドウシテ豫防スルカ

(イ)「コレラ」病ハ始メハ外國流行地カラ船ガ持テ來マ
 シテ内地航路ノ船ヤ、瀛車デ他所ニ運バレマスカ

(ハ)不潔不養生ハ病ノ媒介デアリマスカラ常ニ土地、
 家、身体衣類寢具ハ清潔ニナサイ蠅モ撲滅ヲ計リ
 溝渠モ水ノ滯ラザルヤウニ掃除シ飲料水使用水ノ
 周圍モ清潔ニシナサイ、人体ノ外部ニハ異常ナク
 シテ大小便ニ病芽ヲ有スルモノアルカラ殊ニ便所
 中ニハ其都度石灰末ヲ入レナサイ
 (ト)流行病ノアル時節ハ吐瀉病熱病ヤ下痢症死亡ノ家
 デハ飲食ヲシナイノガ安全デス
 (チ)「コレラ」セキリ「チヤウチブス」ノ疑ヒアルモノ

◎大正五年自一月一日傳染病患者比較表
 至十月一日

町村名	赤痢	全疑似症	腸チブス	全疑似症	計
萩	五	三	二	六	一六
椿郷東分	九	九	六	一	二三
山田	一	一	二	三	六
三見	一	一	一	二	五
計	一六	一六	一六	一六	六四
大正四年	一六	一六	一六	一六	六四
大正五年	一六	一六	一六	一六	六四
大正四年	一六	一六	一六	一六	六四
大正五年	一六	一六	一六	一六	六四
大正四年	一六	一六	一六	一六	六四
大正五年	一六	一六	一六	一六	六四

ラ「コレラ」ノアル港ヘ碇泊スル船ヤ其土地ニ行ク
 人ハ特ニ警戒セネバナリマセヌ
 (ロ)「コレラ」セキリ「チヤウチブス」ノ流行地ニハ往
 來シナイノガ安全デス流行地ヨリ送致セル荷物殊
 ニ飲食材料ハ適當ノ消毒シタ後ニアラザレバ使用
 シテハナリマセヌ
 (ハ)「コレラ」セキリ「チヤウチブス」ノ病芽ハ人ノ口
 カラ身体ニ侵入シマスカラ口ニ觸レルモノハ總ベ
 テ相當ノ注意ヲセテバナリマセヌ
 (ニ)胃腸ノ弱リハ「コレラ」セキリ「チヤウチブス」病
 ノ傳染ヲ受ケマスカラ暴飲暴食ヲナサズ胃腸ヲ強
 壯ニスルヤウニシ萬一下痢スル者ヤ惡寒ノスル者
 ハ賣藥ナドノ手療治ヲセズ直ニ醫師ニ診テモライ
 ナサイ「コレラ」セキリ「チヤウチブス」ハ恐シイ
 病ナレド早ク治療ヲスレバ治リ易イノデアリマス
 (ホ)魚ノ刺身、生野菜、果物、生水、ハ病芽ニ汚サル
 、コト多イ故相當注意セテバナラヌ殊ニ水ニハ「
 コレラ」セキリ「チヤウチブス」ノ病芽ハ數ヶ月
 モ生在シマスカラ飲料水ノミナラズ使用ノ河水、
 海水等ヲモ煮沸シテ使用セテバナリマセン

ハ早ク病舎ニ送レバ十分ナ看護治療ヲ受ケ家族ニ
 モ安全デ病毒ヲ他ニ傳播スルコトハアリマセン
 (リ)「コレラ」セキリ「チヤウチブス」ノ疑ヒアル患者
 又ハ「コレラ」セキリ「チヤウチブス」患者ニ觸接
 シ或ハソレ等ノ汚レ物ニ觸レタ人ハ其手、衣類ヲ
 消毒セテバナリマセヌ殊ニ患者ノ吐出物排瀉物汚
 レ物ハ最モ危険ダカラ河川海ニ捨テ、ハナリマセ
 ヌ必ズ嚴重ノ消毒ヲ受ケテバナリマセヌ

椿郷東分	萩	町村名
		患
	一 二 三	者 死 者

◎大正五年
自初至十月三日發
虎列刺患者發生表

合	奈吉篠三山
計	古部生見田
二 五	四 一 一 二 二
一 四	四 一 一 一

合	見	六	田	小	彌	須	福	宇
計	島	島	崎	川	富	佐	賀	郷
一 三	二	一	一	二	一	七	一	
二 〇	一	一	〇	一	三	九	一	
一 三	一	一	二	一	三	九	八	
七	一	一	八	一	三	六	一	
六	一	一	一	一	一	四	一	
八	一	一	一	一	三	三	一	
三	一	一	二	一	一	一	一	
五	三	一	一	一	一	一	一	
三 三	三	二	五	三	四	〇	八	
三 九	三	二	六	一	六	六	一	

奈	大	紫	福	吉	高	嘉	德	地	生	篠	川	佐	明	町
古	井	福	川	部	俣	年	佐	福	雲	生	上	並	木	村
二	二	七	七	三	一	五	一	一	一	一	一	一	一	大正四年 赤
三	一	〇	八	一	二	一	一	一	四	一	一	一	一	大正五年 痢
三	二	三	三	一	四	一	一	一	四	一	一	二	一	大正四年 全疑
一	一	四	二	一	四	一	二	六	二	一	一	一	一	大正五年 似症
一	三	二	一	七	一	一	一	三	一	一	一	一	一	大正四年 腸チフス
六	一	一	七	一	一	一	一	一	二	一	〇	一	五	大正五年 全疑
二	五	一	一	一	一	三	三	六	一	一	一	一	一	大正四年 似症
九	一	二	一	一	一	一	五	三	四	三	一	一	一	大正五年 計
八	二	三	三	二	一	五	四	一	三	一	一	二	一	大正四年
九	一	五	九	二	五	一	八	五	七	三	一	五	一	大正五年

◎衛生講話會

一般衛生并傳染病豫防ニ關シ講話會ヲ開催シタル狀況
左ノ如シ

月 日	開 場 所	聽 衆 人 員
八月廿四日	須佐村 育英小學校	六百八十人
八月廿五日	福川村 福川小學校	四百人
八月廿六日	紫福村 佛光寺	四百人
九月一日	六島村 藏海軒	三百人
九月七日	佐々並村 西岸寺	二百人
九月九日	川上村 梅岳寺	二百人
九月十五日	椿郷東分村 香川津公會堂	七十人

◎學 務

趣ヲ体シ土地民俗ノ情況ヲ究メ適切ナル指導ヲ加ヘ
以テ健全ニシテ適切ナル修養ヲナサシムルコトヲ期
セラレタシ

二教育ノ徹底ヲ期スル件

近時教員研究心ノ一般ニ向上發達シ來レルヲ見ルハ
大ニ喜フベキ所ナリト雖モ其實際ニ至リテハ今尙往
々形式ニ流レテ教授ノ的確ヲ缺キ兒童ハ徒ニ受動ノ
位置ニアリテ自發活動ノ餘地少ク智識薄弱ニシテ活
用ノ能ニ乏シク訓練ノ施設亦善美ナリト雖モ其効果
ハ却テ日常卑近ノ事ニ及ハサルカ如キ之カ徹底ヲ見
ルヲ得サルモノ少カラザルハ深ク遺憾トスル所ナリ
各位ハ一層教授管理訓練其他學校施設事項ノ振興ニ
留意シ教育ノ實績ヲシテ益透徹セシムルコトニ遺漏
ナカラシムルコトヲ期セラレタシ

三實業補習學校ニ關スル件

青年團體ノ改造ト俱ニ實業補習學校ヲ設置シ又ハ之
ガ施設方ノ改正ヲ要スヘキコトハ嘗テ指示セシ所ナ
リ而ルニ今尙學校未設ノモノ明木、佐々並、篠生、嘉
年、見島ノ五ヶ村アリ女子部ノミノ設置アリテ男子
部ノ設置ナキモノ山田、三見、吉部、福川ノ四ヶ村ア

各 地 ニ 友 ナ 有 セ

◎小學校長集會

大正五年八月廿八、廿九、三十ノ三日間郡會議事堂ヘ郡
内小學校長ヲ召集シ左ノ事項ニ付指示注意スル所アリ
タリ

指示事項

一青年團體ノ指導獎勵ニ關スル件
民心ノ歸嚮ヲ一ニシ興國ノ機運ヲ促進スルハ内外現
時ノ狀態ニ照シ最モ緊要トスル所ナリ殊ニ青年ノ元
氣ヲ振勵シ剛健敢爲ノ風ヲ涵養スルハ國家將來ノ進
暢ニ影響スル所大ナルモノアルヲ以テ曩ニ内務文部
兩大臣ノ訓令ニ基キ青年團體ノ目的ヲ闡明セラレタ
ル本縣青年會設置標準ニヨリ各位ノ盡瘁ヲ望メリ爾
來各位ハ町村ノ實況ニ照シテ之ガ指導獎勵ニ怠リナ
キヲ知ルモ尙其發達ノ見ルヘキモノ多カラサルハ頗
ル遺憾トスル所ナリ顧フニ青年團體將來ノ發達ハ懸
リテ各位ノ指導如何ニ在リ庶幾クハ各位ハ訓令ノ旨

リ又男子補習學校ノ設置アルモ修業年限丁年マデニ
及フ學則ノ改正未了ニシテ且實業學科擔任教員當ヲ
得ズ從テ教材ノ選擇教授ノ方法地方ニ適切ナラザル
ガ爲或ハ社會一般ガ未此種教育ノ必要ヲ感知セズ爲
メニ生徒ノ就學出席良好ナラズ不振ノ情況ニアルモ
ノ尠カラサルガ如シ各位ハ前項青年團體指導ト相並
ビ其方法ヲ講究シ其施設ヲ完備シテ青年全部ノ就學
ヲ獎勵スルト共ニ内容ノ充實ニ關シテ一段ノ指導ヲ
加ヘラレタシ

四圖書館ノ設置及其内容充實ニ關スル件

圖書館ヲ學校ニ附設スヘキコトニ付テハ嘗テ指示セ
ル所ナリ本縣ニ於ケル圖書館ノ成績ハ全國第一位ニ
推サレ各府縣競テ之ニ及ハンコトヲ企畫セル氣運ナ
ルガ退テ本郡ノ狀況ヲ顧ミルニ郡立圖書館及其巡回
書庫アリト雖モ各町村設置ノモノハ未タ甚寂寥ニシ
テ且圖書ノ撰擇閱覽ノ方法等研究ヲ要スルモノ多キ
カ如シ圖書館設置ノ目的ハ學校教育ニ於テ養成ノ自
學自習ノ習慣ニヨリ自發的ニ内外古今ノ圖書ニ親ミ
國家社會ノ貢獻ヲ促スニアルモノナレハ可成國民精
神修養創作發明ノ能力養成ノ資タルヘキモノハ撰擇

シテ趣味ノ下ニ精讀セシムル様指導セラレシコトヲ望ム

五學校衛生ニ關スル件

兒童身體發育ニ關シテハ常ニ細心ナル注意ヲ及ホシ
智能ノ發達ト相俟チテ之カ鍛鍊養成ニ努メサルヘカ
ラズ然ルニ本郡各校兒童身體ノ狀況尙大ニ獎勵指導
ヲ要スルモノアリ殊ニ近時教員ノ疾病ニシテ衛生上
考慮ヲ要スヘキモノ續出セルハ寒心ニ堪ヘサルトコ
ロナリ各位ハ兒童體育ヲ獎勵スルト共ニ部下教員身
體ノ保健ニ留意ヲ加ヘ一般學校衛生上遺漏ナカラシ
コトヲ期セラレタシ

注意事項

一 青年讀物活動寫眞等ニ關スル件
青年讀物ノ撰擇ヲ怠リ活動寫眞觀覽ノ取締ヲ忽ニセ
ル結果ハ青年兒童ヲ刺戟シテ遂ニ之ヲ誘惑毒害シ甚
シキハ刑事上ノ犯罪者ヲ出スコト全國其例ニ乏シカ
ラス本郡ニ於テハ幸ニ未タ其弊ヲ認ムルモノナシト
雖モ豫メ留意スルトコロナクンバ不測ノ禍變ヲ生ゼ
ザルヲ期シ難シ各位一層ノ顧慮ヲ望ム

キヲ期セラレタシ

五阿武郡小學校兒童聯合體育會ニ關スル件

曩ニ本郡教育調査會ヲ開設シ同會ノ意見ヲ參酌シテ
體育會規則ヲ制定シ本年實施方法ヲ定メタリ聯合ノ
各部ニ於テハ更ニ適當ナル細則ヲ作り本會開設ノ目
的ヲ貫徹スルニ遺憾ナカラシムベシ

六教員部會々場及變更ノ件

前諸會舉行ノ爲本年秋季ニ開設スヘキ教員部會々場
及期日左記ノ通變更スヘケレバ亦各部ニ於テ相當申
合アラシコトヲ望ム

左記

東部 八月十四日十五日 生雲小學校ニ於テ開催
西部 八月十七日十八日 明倫小學校ニ於テ開催
南部 八月三十日十月一日 明倫小學校ニ於テ開催
北部 八月十八日十九日 育英小學校ニ於テ開催
中部 八月十一日十二日 紫福小學校ニ於テ開催

口頭注意事項

- 一 縣及郡教育會未納會費整理ニ關スル件
- 一 縣教育會造林事業費納入ノ件

二學校宿直ニ關スル件

學校校舍校具ノ保管及 御影並膳本ノ奉護上學校宿
直ノ忽ニスヘカラザルコト言テ俟タス然ルニ長期休
業中往々右保管者ヲ空シクスル向アルヤニ聞ク將來
十分責任ヲ重シ遺漏ナカラシコトニ留意セラレタシ

三郡教育會主催通俗講演會ニ關スル件

曩ニ教育會及神職會相聯合シテ催セル渡邊亦間宮禰
宜講演會ハ各町村民心ニ相當ノ刺激ヲ與ヘ其効果尠
カラザリシハ同慶ニ堪ヘザルトコロナリ郡教育會ニ
於テハ更ニ別紙日割ニヨリ花田中佐講演會開設ノ筈
ナレバ豫メ注意セシ如ク聽衆勸誘講師待遇上ハ勿論
講演ノ結果各部落ニ於テ報德會設立ニ至ルヘク盡瘁
アラシコトヲ望ム

四理化教養整理指導ニ關スル件

曩ニ教育會ニ於テ開催セシ理化實驗簡易裝置製作法
講習會ニ於テ郡内二三校ヲ除クノ外學校所要ノ理化
教養ヲ整頓セシハ斯道ノ爲喜フトコロナリ更ニ右講
師重富氏ヲ聘シテ郡内各部ニ於テ右裝置實驗方及各
町村尋常高等小學校ノ實地整理方ニツキ指導ヲ乞フ
ノ豫定ナレハ豫メ各校教養ヲ整理シテ受講ニ遺漏ナ

◎阿武郡教育會事業

阿武郡教育會ニ於ケル本年度ノ事業狀況ハ前號ニ記載
セシ所ナルガ尙八月中ニ於テ教育品展覽會及總會ヲ開
催シ何レモ豫期ノ如ク結了セリ其ノ狀況左ノ如シ

阿武郡教育會第九回總會狀況

八月廿八日午前八時四十分ヨリ明倫館内ニ於テ開催ス
其順序左ノ如シ本日出席會員百八十名來賓トシテハ小
倉大佐、室田、野北兩中佐、岡本、原兩少佐、瀧口郡會議
長、村上萩中學校長、米原郡立高等女學校長、藤原、田中
兩中學校教諭、中野高等女學校教諭、松尾椿郷東分村長
平野椿村長、中村郡會議員等二十余名ナリ

- 一、一同入場(振鈴ノ合圖)
- 二、開會挨拶
- 三、唱歌君カ代
- 四、教育ニ關スル勅語及御沙汰書捧讀
- 五、會務報告
- 六、會長式辭
- 七、來賓祝辭
- 八、講演

九、承認事項

一〇、評議員選舉

一一、會員短時間演說

一二、閉會挨拶

一三、一同退場

第一ノ振鈴ヲ合圖ニ一同着席スルヤ桂木幹事長開會ヲ宜シ唱歌君カ代及勅語及御沙汰書捧讀アリ終ツテ桂木幹事長會務ヲ報告岡村會長ノ式辭來賓瀧口吉良氏ノ祝辭アリ之レヨリ山口師範學校教諭越川彌作氏ヨリ「情意尊重ノ教育」ナル題ニテ約一時半ニ亘ル講演アリ其要領別記ノ如シ

次ニ岡村會長ハ阿武郡教育會ノ附設事業トシテ阿武郡史蹟保存會設立スヘキコトニ付其趣意經過等ヲ述ヘ保存會規則ノ承認ヲ求メタリシカ何等支障ナク滿場拍手ノ内ニ承認ヲ經タリ

次ニ教育會評議員十一名史蹟保存會評議員十四名ノ選舉ニ移リシニ會長ノ指名トスルノ動議起リ滿場異議ナク直ニ左ノ諸氏ニ指名アリ終ツテ桂木幹事長ヨリ閉會ヲ宣シ一同退場セリ

教育會評議員

- 村上俊江 米原鶴太 内田一心
- 小野彌市 森田豐吉 谷井磯太郎
- 信國顯治 櫻井民次郎 須子五郎
- 大和春三 緒方二郎
- 史蹟保存會評議員
- 瀧口吉良 村上俊江 米原鶴太
- 内田一心 平野 斌 松尾文一
- 平川定致 眞鍋利吉 安藤紀一
- 中野貞介 谷井磯太郎 信國顯治
- 香川政一 荒木秀藏

▲阿武郡第九回教育總會ニ於ケル講演要領

演題 情意尊重ノ教育

講演者 山口師範學校教諭 越川彌作

本筆記ハ唯講演ノ大意ヲ録シタルニ止リ因ヨリ講演其ノマ、ニ非ズ例話ノ如キモ單ニ其ノ大要ニ止メテ其ノ詳細ニ及ハズ爲ニ滋味ヲ化シテ蠟トナス其他論旨徹底ヲ缺キ間々誤謬ニ陥レル者ナキヲ保セヌ要スルニ文責全ク記者ニアリ讀者幸ニ之ヲ諒セヨ

(前略)人ノ精神ニハ知情意ノ三方面ガアル、此三方面

ハ共ニ有機的關係ヲ有シテイル。而シテ其ノ働ク思想トイヒ、思想ノ働ク方向ヲ思潮トイフ。

思想ハ固ヨリ智情意ノ三方向ノ共同作用ニヨルモノデハアレカ人ノ着眼ニヨツテ差ガ出來テ來ル。即智識ヲ重スル場合ト情感ヲ重スル場合ト意志ヲ重スル場合トガアル。之ヲ主義ヨリ言フト 主智主義 主情主義 主意主義トナル。サレト主智主義トイフテモ他ノ情意ヲ全然棄テルトイフ譯テハナク、主情主意亦然リテアル。唯主トスル所ニヨツテ名ケルノミデアル。

現代教育ニ於テハ實際ハ主智主義ガ行ハレテイルカ其ノ力說セラレル所ハ主情主義テアル。夫ノオイケン、ベルグソンノ如キハ即ソレデ是ガ現代ノ思潮ニナツテイル。

サテ如何ニシテ主情意主義即情意尊重ノ思潮ガ出來タモノカ。抑十七世紀ハ主智主義デアツテソレカ十八世紀ニ及ンダガ、ソレガ爲物質的ノ教育ガ盛ニ起ツタ、從テ其ノ短所モ顯レテ來タ。ソコデ其ノ反動ニ哲學、倫理學ナドノ關係カラシテ遂ニ主智主義ヲ排シテ今日ノ主情意主義ガ盛ニナツテ來タノデアアル。然ラハ何故ニ主智主義ヲ排シテ主情意主義ヲ執ルカトイフニ智ハ

精神作用ノ根本デナク、情意コソ根本的ノモノデアルトイフ所カラ來テイル。抑智識ハ生後ニ於テ初メテ得ラレルモノデ、生レナカラニシテ人ノ有スルモノデハナイ。近時マデハ智情意ノ起ル順序ヲ通常カライフ風ニ言ツテイタ。タトヘバコ、ニ水ガアル。之ヲ見テ水ノアルコトヲ知ル(智)暑サニ渴シテ之ヲ飲ミタイトノ心ガ起ル(情)ソコデコップニ入レテ飲マウトノ決心ガ生スル(意)即智―情―意トイフ順序ニ働クモノト思フテナツタ。然ルニ更ニ根本的ニ考ヘルトソレダケデハ説明ノ出來ナイコトガタクサンアル。例セハ數人同一ノ新聞紙ヲ讀ミナガラ人カラ其ノ見タ所ヲ聞カレルト其ノ答ガ同一デナイ。教育家ハ學生事件ガアツタトイヒ、商家ハ物價ノ高低ニ就テ答ヘ、工業家ハ工場方案ニ就イテ語り、畫家ハ荒木十畝ノ洋行事件ヲ話ス。此事實ハイカニシテ説明スルカ。主智主義カラ言ハ、誰ノ答モ同一デアアルベキテハナイカ。然ルニ實際サウハイカナイ理由ハイカコ、到底智マケデハ説盡サレナイソコデ、コ、ニドウシテモ情意ノ傾向トイフコトヲ持出サチハナラヌ。「心此ニアラザレハ見レドモ見エズ、聞ケドモ聞エズ、食ヘドモ其ノ味ヲ知ラズ」ノ古語

モ普通ノ事實デアルガ此事實モ亦情意ノ傾向トイフコトヲ以テスル外ニ説明ノ道ガナイ。同一勸工場ニ同行シテモ男ノ兒ヲ持タ者ハ子供ノ帽子ガ多イヤウニ見え、女ノ子ノ母ハリボンバカリガ目ニツク。情意傾向ガ五官ノ智覺即認識ヲ支配スルコトハ此ノ數例デ明デア。要スルニ人ハ外界ノ萬物ヲ萬人平等ニ認識スルコトハデキナイ。必ズヤ人人ノ境遇ニヨツテ異ナツタ認識ヲナスモノデア。ツマリ認識ハ情意ノ選擇ニヨツテ行ハレルモノトイフテヨイ。カクノ如ク見來レハ從來ノ智ノ情意トイフ考ヘハ間違デ、情意ノ智ノ順序ヲ正イモノトイハチハナラナイ。

以上ノ如キ思想カ漸々盛ニナツテ、ニ主情意主義換言スレハ情意尊重ノ現代思潮トナツテイルノデア。シカシナカラ主情意主義亦全ク弊害ガナイデモナイ。即情意ヲ主トスルモノハ偏見ニ陥ルコトカアル。偏見トハ情意ノ偏向ノコトデハ知ヲ以テ救ハナケレバナラナイ。例ヘバ同一人ニ對シテモ女子ハドウモ好カンヤウナ人ダトカ、イヤナ氣持ノスル人トカ、スベテ情的ニ批評スル傾ガアル。即偏見ニ陥リ易イノニ反シ男子ハ其體格其ノ智能等ヲ見テ有爲ノ人トカ有望ノ士ト

カ智的ニ批評ヲ下スガ故ニ其判斷ハ女子ヨリ精確デア。必然的デハナイガ男女ノ間ニハ右ノ如キ傾向ガアル。即女子ハ情的ニシテ偏見ニ陥リ易イ。男子ハ智的ニシテ偏見ニ陥ルコトカ少イ。是ハ智情ト偏見トノ關係ヲ見ルベキノ例デ此邊ハ亦大ニ考フヘキコトデア。サテコレヨリ一步ヲ進メテ主知主義ノ弊ヲ考ヘテ見ユウ。

一、智識ハ道具デアツテ目的ツノモノデナイ。道具ナルガ故ニ善用惡用何レニモ向フ。而シテ此ノ向フ方角ハ情意ノ傾向ニヨル。例ヘハイツカノ新聞ニ「佛國デハ自働車強盜トテ白晝自働車ヲ驅テ銀行ヤ大商店ニ爆彈ヲ投シ財物ヲ掠奪シテ跡ヲ晦マヌモノガアル」トイフ記事ガ見エタ是等ハ智ノ惡用テ此ノ智ヲ善用シタナラ飛行機トモ無線電話トモナル。文明ノ利器ハ皆智ノ善用ニヨツテ成ツタモノデア。二、智識ハ理屈ニ陥リ易イ。大體理屈ハ知識ノ活用デア。泥棒ニモ三分ノ理ノ諺通總テノ事イカヤウニモ理屈ハツケラレルモノデア。三年間禁酒ノ立願者ガ隔日禁酒トシテ六年間ニ延ヘ更ニ三日日禁酒デ九年間ト變ヘ六日日禁酒

デ十八年間十二日日禁酒デ三十六年間ニ延期シ遂ニ一生毎日禁酒スルコト、シテ死ヌルマデ飲ムコトニシタトイフ笑話スラアルデハナイカ。

三、智識ハ批判的デア。此ノ批判ガ惡方向ニ傾クト權威思想カナクナル。即何物ニモ畏敬ノ念カ起ラナクナル。是ハ甚長ルベキコトデア。學校教育ニ於テ教室内ノ教授ハ絶エズ批判的體度ヲ執ル。是ハ己ムヲ得ナイコトデア。比ノ傾向ヲ餘リニ強メタテ教育上ニ及ボス影響結果ハ如何デアラウカ。一般ニ破壞的傾向ノ盛ナノハ現今ノ狀態テハナイカ。此ノ教室ニ於ケル批判的指導ハ全然惡イトハイハナイガ大體ニ於テ批判的傾向ハ人格的強固ナ人物ハ作ラナイ。

以上ノ如ク智識ハ理屈ニ陥ルモノデア。夫ノ歐洲戰爭ニ於ケル對手國ノ宣戰ノ布告ヲ對照シテ見ヨ。イツレモ相當ノ理屈ヲ以テ居ル。冷靜ニ考ヘルト實ニ妙ナ感シカスル。智識ハ又批判的デア。此ノ批判カラシテ理屈モ出テクルノデア。此ノ智的批判ノ理屈ニ陥ル弊ハ修身科教授ニ於テ殊ニ甚シイ。是ハ修身科教材ノ取扱ニ於テ特ニ注意シナケレバナラヌ所デア。或

學校ヲ參觀シタ時「人ニハ何故ニ敬禮シナケレハナラナイカ」トノ質問ヲ兒童ニ試ミタ教師ガアツタ。一人ノ兒童ヤウ／＼ニ起立シテ「ソレハ向フノ人ヲ喜バセルタメデス」ト答ヘタ。スルト教師ハ「ヨロシイソノ通り」ト允許ヲ與ヘタ。是レガ果シテ當テ得テ居ラウカ。丁酉倫理講演集トイフ雜誌ニ「自分ノ如キ不幸ノ境遇ニ在ルモノガ何故ニ孝行ヲシナケレバナラヌダラウカ」トイフ質問ヲ出シタ青年ガアルガ大體孝ノ本務タトカ單ニ理屈一遍デ説明ガ出來ヨウカ。高德ノ某僧カ三年間親ノ墓前ニ坐シテ孝道ノ理ヲ考ヘタトイフコトカアル。カヨウノ事ハ到底智的批判ヤ理屈デ説明ノデキル譯ノモノデナイ。ドコマデモ情意的ノ解釋ニ俟タナケレハナラナイ。

今日ハ世ノ中ニ智識アル犯罪者ガ増シ且證據不十分デ無罪ノ宣告ヲ受ケルモノガ多クナル傾向ガアル。是レ實ニ智的教育ニ偏シタ結果ト見バナルマイ。主智主義ノ教育ノ弊ハ誠ニ右ノ通デア。デ吾人ハ此ノ弊ヲ避ケテ立派ナ人格ノ人間ヲ養成シナケレハナラナイ。而シテ其ノ方法トシテハ主情意主義ノ教育ヲ執ルノ外ハナイ。

吉田松陰先生ガ

かくすればかくなるものと知りながら已むにやまれぬ大和魂ト歌ハレタ。ソノ「已むに已まれぬ」トハ全體何物デアラウ。實ニ中心ノ要求デアアル。武士道ニハ此ノ中心ノ要求ニヨルモノカ多イ。赤穂四十七士ノ快學ノ原動力モ何物カノ中心要求デハナイカ。維新ノ際ノ防長ノ志士ハ果シテ知的判斷カラノミ活動シタモノデアラウカ。思フニ何レモ中心ノ或要求ニヨルモノトイフノ外ハアルマイ。歴史家中ニハ維新ノ事業ヲハ無謀ノ舉ト評スルモノガアルケレド、皆是已むに已まれぬ大和魂ノ發動ノ結果、即情感ノ要求、前述ノ語ヲ用フルナラ情感ノ傾向ノ發動デアルト言フハナラナイ。兒童教育デモ此情感ノ養成カ極メテ必要デアアル。身體ノ運動ニシテモ亦此情感ガ必要デアアル。イヤ〜デヤツタ運動ハ體育上何ノ益モナイ、サンダウノ鐵啞鈴デモ熱心トイフ情感ガ伴ハナケレハ、腕ノ肥大ヲ増スコトハデキナイトイフ。身體ノ養護ニスラ情感ノ必要ナコトハコノ通りデアアル。況ヤ知能的教授道德的教授訓練ニ於テチヤデアアル。「一人十馬ニ水カフベシ十人十馬ニ水カフベカラズ」ノ諺モ實ニ此ノ理ニ外ナラヌノテ

ル。次ニ情意教育ノ方法ニ就イテ述ベヨウ。情意的教育ノ方法トシテハ藝術的美術的ノ教育カ必要デアアル。

藝術的美術的トハ何ツヤ。其餘件ハ左ノ通デアアル。

- 一、美ノ表現
 - 二、價值ノ認識(一ニ對シテ)
 - 三、愛慕ノ情(同上)
 - 四、沒我ノ情(同上)
- 之ヲ教育ニ應用スルガ藝術的美術的ノ教育デアアル。即

- 一、教師ハ教材ヲ美的ニ取扱フ
- 二、兒童ハ之ニ對シテ價值ヲ認識シ
- 三、愛慕シ
- 四、沒我シ

而シテ教師ノ教授ニ一致スルヤウニセシメヨウト講究スルコトデアアル。然ラハ教師ノ美ノ表現方法ハ如何ン

一、教師自身ノ情感ノ充實確立ヲ要スル。是即先立的基礎的條件デアアル。教師ノ充實ニ確立シテキル情感ガ美的ニ發現スルトキハ兒童ハ其ノ瞬間ニ於テ價值ヲ認識シ愛慕ノ

アル。

以下情意陶冶ニ就テ論ジタイカ時間カナイノデ直ニ實際方面ニ入ルコト、シヨウ。凡ソ教師ノ提示スル教材ハ十分情感ヲ伴フモノナルコトガ肝要デアアル。殊ニ教師自身ニ油ノ乗ツタ熱イ〜情感カナクテハナラナイ。而シテ兒童ハ之ニ對シテ

- 一、教授上ニ於テハ當面ノ教材ニ對シテ熱心ニ喜ビ勇ミテ之ヲ學習シ更ニ未知ノ教材ヲ追求スルヤウナ態度即追求の興味ニ充々テイルヤウナ態度ニアラシメテハナラヌ。
- 二、道德上ニ於テハ道德的情感旺ニシテ自ラ進ンテ修徳ニ努力スルヤウニアラシメテハナラヌ。
- 三、身體ニ就テハ常ニ身體ノ強健ヲ希求シ自好ンデ運動ニツトメルヤウニアラシメテハナラヌ。

右三項ハ左ノ如クマトメルコトガ出來ル

- 一、自學
- 二、自修
- 三、自衛

自動的教育

自動的教育ハ兒童ノ學習態度カラ命ジタ名稱デアアルカコレハ主情意的教育ノ必然的結果タルコトハ勿論デア

情ヲモ起シヒヤリト感服シソシテ全ク沒我ノ境ニ入ルノデアアル。吉田松陰ガ佐久間象山ニ只一回ノ會見ニ於テ中心敬服セラレタトイフ當時ノ光景ヲ

二、情感發現ノ方法(換言スレハ情感發現ノ形式)ヲ研究スルヲ要ス。情感如何ニ充實スルモ如何ニ確立スルモ其ノ發現形式ニシテ不備デアツタラ、藝術的美術的効果ヲ

之ヲ要スルニ主情主義ハ實ニ現代ノ思潮デアアルノデ又正當ナ思潮デアアル。而シテ藝術的美術的ノ教育ハ此思潮ニ副フ教育デ其ノ結果トシテハ兒童ハ常ニ當面ノ教材ニ對シテ熱心ニ學修シ未知ノ教材ニ對シテ旺盛ナル

追求の興味ヲ起シ自學(智能)自修(道德)自衛(身體)ノ態度ヲ生シ。此三態度ヲ誘起スル點ヨリシテ所謂自動

的教育トナル。カクテ完全強固ナル人格ハ爰ニ始メテ
作り得ラレルノデアル。

◎教育品展覽會

八月廿四日ヨリ全廿八日迄五日間明倫館内ニ於テ開催
シタリ其出品總点数三百十一點ニテ之ヲ類別スレハ
左ノ如シ

部類	學科	出品点数
第一類	修身	九
	國語	七
第二類	理科	二
	算術	五
第三類	歷史	二
	地理	一
第四類	体操	三
	圖畫	一
第五類	裁縫	二
	農業	四
第六類	訓練	二
	管理	九

第七類 (參考品)

審査ハ二十五日ヨリ開始シ之ニ從事シタル審査長及審
査員ハ左ノ諸氏ニシテ二十六日終了ヲ告ケ全日ヨリ一
般ノ縦覽ヲモ許シタリ而シテ審査ノ結果一等四點 二
等十點 三等六十二點 計七十六點ヲ撰拔擬賞セリ

審査長

山口師範學校教諭 越川 彌作

審査員

山口 縣 視學 齋藤 彦一

佐波 郡 視學 木原 茂也

山口縣師範學校教諭 越川 靜江

二十八日總集會修了后午前十一時二十分ヨリ教育品展
覽會褒狀授與式ヲ舉行ス其順次左ノ如シ

- 一、一同入場(合圖振鈴)
- 二、擧式挨拶
- 三、審査報告
- 四、褒狀授與
- 五、會長式辞
- 六、來賓祝辞
- 七、受賞者答辞

八、閉會挨拶
九、一同退場

一同入場着席スルヤ桂木幹事長擧式ヲ宣シ次ニ越川審
査長ハ懇切且詳細ナル審査報告ヲナシタリ其ノ要項左
ノ如シ次ニ岡村會長ハ褒狀ヲ受賞者總代大和春三ニ授
與シ式辞ヲ述フ大和總代ハ會長及審査員ニ對シ答辞ヲ
述ヘ桂木幹事長閉式ヲ宣シ終了セリ因ニ大正三年以來
連年之ヲ開催シ其數ノ増加ト共ニ成績ノ向上ヲ見ルハ
本郡教育ノ爲誠ニ喜フヘキコトナリトス

審 報 告 要 項

- 第一 審査標準
- 一、立論調査及ビ考案作製ノ確否精否新否
- 二、初等教育ノ現狀ニ應ズル程度
- 三、努力ノ大小

右ニ據リ相對標準法ニ基キ比較的最も優秀ナルモノヲ
第一等トシ以下順次第三等ニ至ルマデソレノ擬賞シ
タリ故ニ第一等ト雖モ完全無缺ヲ意味スルニ非ズ

- 第二 審査所感
- 一、全出品物中國語科ニ關スルモノ甚タ多カリシモ優良

ナルモノハ割合ニ少ナク算術科ニ關スルモノハ前者
ニ比シ稍少數ナリシモ優良品ハ割合ニ多カリシガ如
シ其ノ他ノ教科ニ於テハ裁縫科ニ注意スベキモノ最
モ多カリシガ如シ、簿冊ニツイテハ調査物比較的多
ク獨創的ノ論述ハ僅々二三ニ過キズ其ノ整理記載ノ
方法ニモ宜シキヲ得ザルモノ少カラズ序文モ目次モ
ナキモノ出典ヲ明ニセサルモノ文体ノ不統一文字ノ
誤謬アルモノ等往々認メラレタリ教諭ニ於テハ努
力ノ大ナルモノ少ナカラザリシモ獨創的ノ考案ニ成
レルモノハ甚ダ少數ナリキサレド數年間引續キテ開
催セル展覽會トシテハ其ノ成績概シテ佳良ナリトイ
フコトヲ得ベシ

(二) 審査中特ニ注意ヲ率キタル品目ニツキテノ所感ヲ述
ブレハ次ノ如シ

簿冊類ノ部

第一類 イ、修身

一、地方的修身科教授資料六冊 大井校 伊藤作太郎
新ラシキ企トイフニ非サレト修身教授ヲ地方化シ徹
底セシムル爲メニハ必要ナルモノナリ、更ニ進ンデ

之レヲ精練シ其ノ利用方法ヲモ研究スルヲ要スベシ
二、農村自治ノ手引 一冊 福田校 内藤 一祐
コノ種ノ研究ハ農村ノ實際ニ合適シタルモノナリ、
一小冊子ニ過ギサルモ有益ナルモノタルヲ失ハズ、
サレド自治要目ノ系統的排列上猶考察ヲ要スルモノ
アルベシ、例ヘバ分度經濟ヲ五月ニ授クル如クセル
コトナドモ、寧ロ收穫時ニ於テスル方或ハ適當ナル
ベキカ、猶縣用農業教科書トノ連絡ノ如キ、如何程
マデ考ヘタルカ不明ナリ

第一類 ロ、國語

一、書方初步ノ教授案 一冊 多磨校 木藤 スエ
最初三週間ノ教授細目ノ精シキモノナリ、深究熟考
ヲ重テ大ナル努力ヲ費シタルモノトハイフベカラザ
ルベキモ、初學年取扱上參考トスベキ一案タルベシ、
更ニ本科教授ノ全系統トノ關係ヲ明ニスルヲ要ス
二、尋常科書方教授ノ實際部面 一部 育英小學校
系統的ニ立案シ具體的ニ研究シタルモノ、實際上有
益ナルモノナラン、内容モ大体ニ於テ佳良、本科ニ
對シ趣味アリ實力アルモノニ非ザレハ能ハザルモノ

筆速筆力ノ明瞭ニアラハレタル工夫可、手本ノ字ヲ
今少シ研究シ範書ハ成ルベクソレニ似セテスルヲ要
スベシ

八、尋常小
學讀本自學ノ彙

一冊 大嶋 小學校
漢字自習ノ方便物トシテ作成セルモノ、一々漢字ニ
假名ヲ附セルコト通常ノ辭書ノ如クセザルトコロニ
見ルベキ点アリ、適用ノ如何ニ依ツテハ效果小ナラ
サルベシ、意義ヲ自習セシムル工夫缺ケタルハ如何
九、動的教育
ニ基ケル讀方練習カード 一箱 下小川校 堀 彦植
着想可、優等生ノ指導上效果アルベシ、作成ノ努力
ハ甚ダ大ナルモノアルベキモ完成ヲ希望セザルヲ得
ズ

一〇、書翰常識

一冊 越ケ濱校 堀 重信
大ナル努力ヲ要スル研究トハイフ能ハザルベキモ、
各方面ニ亘リテ大ナル缺点ナク參考トナル点少カラ
ズト信ズ
二、尋常科第六學年ノ讀方教授 一冊 宇田校 古川 禎三
自己ノ見地ヨリ系統ヲ立テ整理シタル態度可、更ニ
充實ヲ要スル点アルモ大体上大ナル缺陷ナキ論述ナ

ナリ

三、尋常小學校
ニ於ケル讀方及綴方ノ研究 一冊 彌富校 田村 透玄

國語教授ノ全部ニ就テ一定ノ方針ヲ示セルモノ、立
論ニ見ルベキモノ少ナカラズ、サレド簡單ニ失シ形
式的立言ニ終レルモノ多シ惜ムベシ

四、小學校ニ於ケル話方ノ研究 一冊 小川校 大石 新一
着眼可、各學年ニツキテ系統的ニ考察シタルモ亦可、
内容ハ更ニ精究ヲ要スルベキ点多シ、目的論ノ如キ
稍誇大ニ失スル嫌アルガ如シ

五、國語教授研究 一冊 紫福校 張 忠一
論文集ナリ、熱心努力甚ダ大ニ立論題目何レモ重要
ナルモノニシテ論旨モ概適確ナリト認ム、更ニ自重
奮勵ヲ希望ス

六、國定教科書二
アラハレタル 同訓漢字異同辨 一冊 奈古校 阿川 與一
國語部ニ於テハ漢字ノ調査甚ダ多ク、概同一轍ノモ
ノナリシモ本書ノ如キハ稍出色ノモノナリ、實際教
授上利便ナルモノナラン

七、平假名ノシラベ 一冊 明倫校 野上 キヨ
守田 フサ

三、尋常小學校讀本教材ノ方面的類別表 一冊 長谷川 ナミ
實質的方面ノ彙類表ナリ、一參考タルヲ失ハズ、題
目ハ更ニ考察ヲ要スベシ

一三、小學校ニ於ケル日用文 一冊 立野校 三戸 右一
研究整理概シテ可、目次ヲモ附加セヨ

一四、國語研究 明倫校 國語研究部
教材研究報告ニシテ毎月一日十五日ノ二回ニ全校訓
導ニ配付スルモノナリ諸方面ニ亘リテ周到ナル研究
ニシテ一校ノ國語教授ヲ統一スル点ニ於テ良好ナル
モノト信ズ、努力繼續セラレンコトヲ望ム

一五、書方教授資料 一部 佐々並 小學校
調査精細、大体上要ヲ得タルモノナリ、實際上利便
多キモノナルベシ

第二類 イ、算術

一、算術科研究錄 一冊 龜山校 山内 貞助
隨時ニ問題ニ觸レテ研究シタルモノ、斷片的ニシテ
著者ノ考ノ全系統ヲ明ニシ難キモ、立論適確ナルモ

ノ多ク、各題目トモ重要ナルモノナリト認ム

二、暗算教程排列カード附 一冊 椿東 小學校
要ヲ得タル立案ニシテ實施上ノ用意モ周到ニ何人モ
利用シ得ベシ、教程要旨ハ表ニ書ク方寧ロ可ナラン
カ

三、暗算ノ研究 一冊 多磨校 三浦 アサ
具体的ナラザルト包括的ナラザルトノ缺点アルモ、
今一步研究ヲ進メナハ優良ナルモノトナルベシ

四、尋五第一學期算術教授ノ實際 一冊 多磨校 藤中 實藏
優秀等兒童ヲ顧慮シタル点可、成績ヲ添ヘタルモ亦
可、宿題トシテ撰定シタルモノハ多キニ過ギザルカ
五、算術應用問題ニ關スル研究 一冊 德佐校 村瀬 貫一
實際上ニ立脚シタル研究、以前ヨリノ繼續的研究ノ
一端トシテ出來タルモノニシテ論旨モ概シテ妥當ナ
リ、タゞ稍精ナラザルトコロアリ

六、補習資料實用特殊算、全証書書方、全受験準備算術
補習教育教材研究ノ幼稚ナル現時ニ適應スル有益ナ
ル調査ナリ 緒方 二郎

一三、尋常小學算術科教材ノ研究 一冊 大塚 音熊
第一學年 議論概シテ適確周到、有益ナル研究ナリ

第二類 ロ、理科

一、尋常理科實驗應用ニ關スル研究 一冊 高 信一
精細ナル研究

二、高等科一學年理科ノ研究 一冊 仁保 義助
精細ニシテ整理様式ニ見ルベキモノアリ、タゞ一個
學年ノミナラズ、系統的ニ他ノ學年ニ亘リテモ研究
セハ更ニ可ナラン

三、我が校ヲ尋常小學校外教授要目 一冊 福田校 吉岡 勇市
中心トセル 尋一、二ノミノ案ナルモ着眼上見ルベキ点アリ、系統
的ニ配列セルモ亦可

四、食品鑑定法及貯藏法 一冊 嘉年校 佐伯 トヨ子
編述整理可、家事教授ノ參考トナルベシ、出典ヲ明
ニセヨ

第三類

一、防長沿革史 一冊 大井校 吉屋 雅一

七、小學算術書應用問題ノ研究 一冊 彌富校 神野 常萬

應用問題ノ通覽ニ便利、郷土化ヲ試ミタル点可
八、初歩算術教授ノ研究 一冊 育英校 伊藤源四郎
初歩算術教授上周到ナル研究ニシテ立論概シテ確實
整理法モ亦可ナリ

九、算術科劣等兒童救済ノ實際 一冊 高瀬 小學校
實地ニ試ミタルモノ、概要ノ記述ナリ、一見ノニ
ツイテノ記載ハコレニテ充分ナルモ、更ニコレニ基
ク総合的歸結的ノ原理ノ發見ナキカ

一〇、初學年ノ算術教授ト數圖ノ利用 一冊 阿川 勝一
概シテ穩當ナル研究ナルモ、今一段ノ練成ヲ要スル
点アリ

二、算術教授改善案 一冊 須子 五郎
各方面ニ亘リテノ研究ニシテ論述概シテ適確、教材
整理論ノ如キ特ニ傾聽ニ値スル文字多シ

三、高等小學系統的算術練習問題集 一冊 森 吉祐
一重要方面ノ研究タルヲ失ハズ、利用セハ效果大ナ
ラン

郷土史教授上ノ頁參考書、現在ニ至ルマデ記述シ簡
約ニシテ要ヲ得、整理法亦可ナリ、教科書トノ連絡
關係ヲ具體的ニ示セハ更ニ利用上ノ便ヲ増サン

二、尋常科 高等科 歴史教材比較 二冊 椿東 小學校
繁簡ノ程度、讀方ノ統一、抽象具體ノ比較等ノ研究
ニシテ教授ノ實際上ノ利便大ナルモノト認ム

三、具体化セル郷土科取扱方案 一冊 福田校 金子 茂人
努力大ニシテ整理法可ナルモ、内容ニハ更ニ精究ヲ
要スルモノアルベシ

四、椿村郷土誌及附録 四冊 椿西校 井町常三郎
自己ノ見識ヲ以テ郷土ノ意味ヲ限定シ、之レニ基キ
テ材料ヲ蒐集整理シタルモノ、教授上一頁參考書タ
ルヲ失ハズ

五、尋常科 小學地理直觀的彙類的研究 一冊 高俣校 佐々木 榮熊
參考用トシテ利便多キモノト認ム

第四類

一、裁縫教授ノ理論及實際 一冊 上野 マス
周到緻密ナル研究努力甚ダ大ナルモノナルベシ、本

科ニツイテハ簿冊ノ出品甚ダ少ナク、從ツテ特ニ注
意ヲ要スルモノ亦甚ダ少ナカリシガ、本書ハ獨リ他
ニ類例少ナキ大冊トシテアラハレ、本科ノ爲メニ大
ニ光彩ヲ添ヘタル感アリキ、精細ニ熟讀スル時間ヲ
有セザリシモ概シテ適當ナル説述ナルガ如シ、簿冊
ノ整理亦可

二、裁縫教授ノ彙 一部 高俣小學校
必要ナル方面ノ研究ナレド猶改善ヲ要スル点アリト
認ム

第五類

一、農業科教授細目並ニ實習地ノ經營 一冊 明木小學校
郷土ニ適應セル實際的ノ研究ナリ、偏ニ其ノ實施ヲ
望ム

二、唱歌科教授細目 一部 育英校 梅地忠一
精細周到ナル研究、整理法亦可

三、學校園ノ經營ト利用法 一冊 吉部校 増原九市
實際的ニシテ概シテ當テ得タル研究ナリ

第六類

村ノ缺陷ヲ研究シ之レニ處スル實際方法ヲ叙述ス、
現在實行シツ、アルモノナルベク、コノ種ノ出品中
出色ノモノタリ

教辨類ノ部

第二類

一、算術練習盤 一 地福校 渡邊榮人
練習問題ヲ多ク作ル上ニ便多シ

二、求積説明器 一 椿東小學校
大ナル缺陷ナク利便ナルモノト認ム

第二類

一、ポンプ簡易器機

福川校 伊藤傳次
水ノ通路ヲ明瞭ニ直觀セシムルコトヲ得、兒童ヲシ
テ興味津々タル中ニ其ノ原理ヲ會得セシムルコトヲ
得ベシ、構造簡ニテ要ヲ失ハズ

二、學校中心
トシタル博物檢索圖

生雲小學校
校外教授上利便大ナルベシ、然レドモ中ニハ毎年修
正ヲ要スルモノアルベシ

一、我カ校ノ教育一覽 一冊 紫福小學校
順序ハ整ヒ統一アリ、各教員ニ配付シテ注意セシム
ト、良案ナリ實行ニ努メ徹底ヲ望ム

二、我カ校ノ訓育 一部 吉部校 大和春三
家族主義、勸善主義等ヲ標榜シ卒先指導以テ訓育ノ
徹底ヲ圖ルモノ、出産ノ喜其他新ラシキ良好ナル企
少ナカラズ、校訓ハ稍長キニ過グル嫌アルベシ、簡
約ニセバ實行上利便多カラシ

三、尋常小學各科教辨目錄 一部 篠生小學校
教辨整理上必要ナルモノナリ

四、教辨臺帳 一部 福田小學校
各學年別ニ整理シ別ニ總括的ノモノヲモ作り、系統
整然タルモノ、教辨ノ調製ニハ是非カ、ルモノナカ
ルベカラズ

五、町民教育資料 一冊 明倫校 城市春太郎
個人ノ研究トシテハ蒐集努力甚ダ大ナルモノ、内容
亦概シテ適當ナルガ如シ

六、吉部村通俗教育施設狀況及附錄 一部
吉部校 大和春三

三、植物標本

高瀬小學校
努力大ナリ、成績亦概シテ良好ト認ム

四、兒童實驗用具箱

大方清平
現時ノ切實ナル要求ニ投ズルモノナリ、更ニ研讀者
完美ノモノタラシムルヲ切望ス

第三類

一、六島村寫真帳

大島校 大谷榮穂

二、全地圖

前者ハ自ラ撮影シ整理セルモノノ努力甚ダ地圖ト合セ
用イテ利便大ナルモノナルベシ、教辨トシテモ利便
アラン

三、防長郷土地圖

明倫校 香川政一

獨創的ノ点多シ、郷土教授ノ良參者タルベシ、作成
ノ技術殊ニ色彩ノ利用法ニ就テハ巧ナリトイフヲ得
ズ

四、朝鮮ニ關スル諸標本

明倫校 齋藤實
出品者ハ自ラ朝鮮ニ趣キテ蒐集セルモノナリトイフ
總ベテ百五十餘点、努力甚ダ大ニ又朝鮮ヲ理解セシ

ムル爲ニ最モ良好ナル教辨ナリ

五、宇田郷村模型地圖

宇田小學校

六、明木村模型及明木校全圖

明木小學校

コノ種ノ出品ハ僅々以上ノ二点ノミ、兩者ヲ通シテ技術上更ニ改善ヲ要スル点少ナカラザルモ作成ノ努力ハ甚ダ大ナルモノアリ

七、教室用地圖

八

明倫小學校

教室常備用トシテ必要ナルモノナリ

第四類

一、手工科標本

明倫小學校

裁縫科トノ連絡ヲ參案シテ作成整理セルトコロニ新工夫アリ

二、紐教辨

須佐校

河村イト外二名

努力大ニ教辨トシテ利便多キモノナリ

三、小學校圖畫手本擴大圖

椿東小學校

努力大、技術モ相當、初步教授上有要ナルモノナリ

四、圖案教授用掛圖

徳佐小學校

専門家ノ筆致アリ、教授上ノ良參考物タルベシ

五、カード式唱歌教授細目

吉部校 武安明氏外二氏

五、裁縫教辨

白水校

三輪トシ

作成整理ノ努力甚ダ大ナルモノト認ム然シ其ノ實質ニ就テハナホ一層ノ研究ヲ望ム

第六類

一、學校沿革中心教授掛圖

明倫校 香川 政一

着想整理研究敬服スベキモノアルモ、作成上ノ技術ニ遺憾ヲ感ズル点少ナカラズ

二、身体検査表

上小川小學校

身体檢閲ヲシテ教育的意味アリシムル爲メニハ、コノ種ノ工夫無カルベカラズ、實ニ從來教育經營ノ實際ニ關スル一短所ニ應ズル研究ナリトイフベシ

三、軸物掛圖臺

明倫小學校

簡單ニシテ利便多シ

受賞品目及學校名氏名

品名	校名	氏名
尋常科書方研究ノ實際部	育英	育英小學校

參等賞

地方的修身科教授資料	農村自治ノ手引	書方初步ノ教授案
------------	---------	----------

大井 伊藤作太郎	福田 内藤一祐	多磨 木藤スエ
----------	---------	---------

一新工夫ノモノ、實際上ノ利便大ナラン

六、唱歌掛圖

大井小學校

新案トイフベキニ非ザルモ全教材ヲ掛圖トシ系統的ニ整理シタレバ實際上利便大ナルベク、努力モ亦小ナラサルベシ

七、色圖表

嘉年校 佐伯民一

稍複雑ニ尖スル嫌アルモ色彩ノ相互關係ヲ知ラシムル上ニ於テ有要ノ教辨タルベシ

第五類

一、裁縫掛圖

大井小學校

系統的ニ作成整理シ概シテ精巧ニシテ努力大ニ教辨トシテ甚ダ良巧ナルモノト認ム

二、標附掛圖

椿東小學校

實際上利便大ナラン

三、縫方標本

越ヶ濱校 野上サダ

概シテ整理モ善ク技術モ見ルベキモノアリ、有要ノモノタルベシ

四、縮臺兼用竹製針箱

明倫小學校

利便ナルモノナリ、サレド猶改善ノ餘地アルベシ

補習資料

我々ノ訓育

吉部村通俗教育施設狀況

多磨 緒方 二郎	吉部 大和 春三	全 全 人
----------	----------	-------

貳等賞

國語教授

國語教授研究

初步算術教授ノ研究

尋常小學第一學年用算術科教材ノ研究

防長沿革史

圖案教授用掛圖

裁縫掛圖

裁縫教授法原理及實際

教辨臺帳

學校沿革中心教授掛圖

明倫 明倫小學校	紫福 張 忠一	育英 伊藤源四郎	地福 大塚 音熊	大井 吉屋 雅一	徳佐 河村 要一	大井 大井小學校	木間 上野 マス	福田 福田小學校	明倫 香川 政一
----------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

參等賞

地方的修身科教授資料	農村自治ノ手引	書方初步ノ教授案
------------	---------	----------

大井 伊藤作太郎	福田 内藤一祐	多磨 木藤スエ
----------	---------	---------

テ、千古ニ誇耀スルニ足ルモノアリ。故ニ、其ノ史蹟ハ、後進ヲ激勵スルコト大ニシテ、一樹寸石モ、教訓ノ資タラザルモノナシ。然レドモ、去ルモノハ日ニ遠ク、存スルモノハ年ト變ズ。若シ之ヲ自然ノ推移ニ任セバ、風霜草萊ノ侵ス所、貴重ノ資材ハ、終ニ片影ヲモ留メザルニ至ラン。豈郷人ノ忍ビ得ベキ事ナランヤ。是ニ於テカ、史蹟保護ノ必要アリ。且ツ、之ニ伴ハザルベカラザルモノアリ。其賢哲ヲ崇祀スルコト是ナリ。夫レ崇祀ハ、靈威ノ由リテ存スル所ニシテ、史蹟ハ、實ニコノ靈威ノ赫灼ナルニヨリテ保存ノ意義ヲ全ウスルモノナレバ、其設備ノ必要ナルコト、言ヲ待タザルナリ。

阿武郡教育會ハ、夙ニ史蹟ノ保護スベキヲ念ヒ、特ニ維新前後ノ名賢ニ就キ天下後世ノ爲ニ之ヲ計畫スベキヲ感ゼリ。乃チ、ソノ各處ニ於テハ、舊宅ハ之ヲ修シ、樹木ハ之ヲ培シ、或ハ若干ノ地域ニ小公園ヲ作り、或ハ碑ヲ立テ、之ヲ表シ、シカシテ、別ニ清爽ノ地ニ一堂ヲ新設シ、之ヲ前賢堂ト稱シ、歲時祭典ヲ行ヒ、且ツ、遺物記録ヲ陳列シテ、以テ無言ノ教典ノ意義ヲ明カニシ、後進子弟ヲシテ、維新勤王ノ績ヲ景仰シ、感

奮興起シテ其遺志ヲ紹述スル素地ヲ作ラシメ、即チ、教育ノ目的タル人材陶冶ノ活事業ヲ、靈性的方面ヨリ進メンコトヲ希望ス。是ニ由テ、今回、特ニ史蹟保存ヲ設ケ、前述ノ計畫ヲ實地ニ調査セリ。切ニ冀クハ、所要ノ費額ニ對スル有力諸賢ノ美譽ヲ歡迎シテ之ヲ遂成スルニ至ランコトヲ。若シ夫レ、是希望ヲ達シテ然ル後ニ漸次他ニ及ボシ、益々史蹟保存事業ヲ擴張セシムルコトハ、固ヨリ本教育會ノ將來ニ期スル所ナリ。爰ニ趣意ヲ發表スルコト斯ノ如シ。

山口縣 阿武郡 史蹟保存會規則

- 第一條 本會ハ阿武郡史蹟保存會ト稱シ阿武郡教育會ニ附設ス
- 第二條 本會ハ阿武郡内ニ於ケル史蹟ヲ調査シ之ヲ保存顯揚スルヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ第二條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
 - 一 郡内ノ史蹟ヲ調査保存スルコト
 - 二 史蹟ニ關スル圖書ノ編纂刊行ヲナスコト
 - 三 適當ノ場所ニ前賢堂ヲ建設シ先哲偉人ノ神靈ヲ

合祀シ且ツ遺物及關係圖書類ヲ陳列スルコト

- 四 史談會其他講演演武ノ會ヲ開催スルコト
- 五 前各號ノ外特ニ必要ト認メタル事業
 - 第一項第一號ノ史蹟保存ニ就テハ別ニ定ムル規定ニ從ヒ維持資金ヲ附シテ其管理方ヲ當該町村ニ委託スルコトアルベシ
- 第四條 本會々員ハ分チテ左ノ三種トス
 - 一 名譽會員 本會ニ對シ功勞最モ顯著ナルモノ
 - 一 特別會員 本會ニ對シ功勞又ハ特別關係アルモノ
- 第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 會長 一名 幹事長 一名 幹事 若干名
 - 顧問 若干名 評議員 若干名 書記 二名
- 第六條 會長、幹事長、幹事、書記ハ阿武郡教育會會長、幹事長、幹事、書記ヲ以テ之ニ充ツ
- 顧問ハ特別會員中ニ就キ評議員會ノ意見ヲ聞キ會長之ヲ囑托ス評議員ハ總會ニ於テ之ヲ選舉ス其任期ハ二ケ年トス但シ再選ヲ妨ケス補闕評議員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第七條 會長ハ會務ヲ總理シ總會及評議員會ノ議長トナル

- 幹事長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス
- 幹事ハ會長ノ命ヲ受ケ會務ヲ處理ス
- 評議員ハ本會ノ豫算決算及本會重要ノ事項ヲ議決ス
- 書記ハ會長ノ命ヲ受ケ庶務會計ニ從事ス
- 第八條 通常總會ハ毎年一回之ヲ開キ會務ノ經過及前年度ノ決算ヲ報告ス臨時總會ハ會長ニ於テ必要ト認ムルトキ之ヲ召集ス
- 第九條 評議員會ハ必要ニ應シ會長之ヲ召集ス
- 評議員會ハ評議員半數以上出席スルニアラザレハ之ヲ開クコトヲ得ス
- 第十條 本會ノ事業ハ阿武郡教育會ヨリ支出スル金額及篤志家ノ寄贈金品ヲ以テ之ヲ經營ス
- 第十一條 本會ノ會計ハ阿武郡教育會ノ別途會計トシ其會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
- 第十二條 史蹟保存物ノ維持管理史談會其他諸會ノ開催及前賢堂ノ維持管理並其ノ祭事等ニ要スル費用支

辨ノ爲本會ニ維持資金ヲ設ク

第十三條 維持資金ハ本會ノ特別會計トシ之ヲ有價証券又ハ確實ナル銀行ニ預入レ保管スルモノトス

第十四條 維持資金ハ利子ノ外之ヲ支出スルコトヲ得ス但第三條第二項ニ基キ保存スヘキ史蹟ノ維持管理ヲ町村ニ委託スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

附則

第十五條 本規則ハ大正五年八月廿八日ヨリ施行ス

◎小學校兒童聯合體育會

本月下旬ヨリ十一月月上旬ノ間ニ於テ郡内各小學校兒童ヲ六部ニ分チ左記實施方法ニ依リ聯合體育會ヲ開催スルコト、ナレリ

第一回阿武郡小學校兒童聯合體育會實施方法

一、開會時日及會場

- 十月二十一日 第三部 高保尋常高等小學校
- 十月二十三日 第六部 地福尋常高等小學校
- 十月二十九日 第四部 小川尋常高等小學校
- 十一月一日 第二部 川上尋常高等小學校

十一月五日 第五部 大井尋常高等小學校

十一月七日 第一部 明倫尋常高等小學校

當日雨天ナル時ハ順延トス但之ガ爲ニ他部ノ期日ヲ變更スルヲ要セズ

二、開會及閉會時限

開會午前十一時 閉會午後二時

部内評議員ノ協議ニヨリ時限ヲ變更スルコトヲ得此場合ニ於テハ豫メ郡長ヘ報告スベシ

三、舉行事項

(1) 開會式(十分) 會長開會宣言唱歌君ガ代二回會長式辭

(2) 學校別體操遊戲 (二時間)

(3) 體力競爭

(4) 郡統一聯合體操 (三十分)

(5) 閉會式(二十分) 審判報告、賞狀及優勝旗授與(郡長) 郡長告辭

萬歲三唱(聯合體育會) (會長)

會長閉會ノ宣言

四、演技

(1) 統一體操ノ教程ハ郡ニ於テ選定セシモノニ依ル

百分比ヲ以テ之ヲ表示ス但シ小數一位ニ止メ四捨五入法ニ依ル

五、賞狀及優勝旗

體力競爭ノ優勝者ニハ學年男女別ニ賞狀ヲ尋常及高等小學校別ニ優勝旗ヲ授與ス

六、其他

(1) 運動ニ參加スル兒童ニハ各校色別ニ左ノ徽章ヲ附スベシ

男兒 男兒幅一寸長五寸ノ布ノ肩章(左肩)

女兒 女兒幅一寸長五寸ノ布ニ二枚ニ造リタルリボン(頭髮)



安全ピンニテ上衣又ハ下衣ニ附ケ換フルヲ得ベカラシム

女兒



(2) 服裝ハ奢侈虚飾ヲ戒メ活潑敏捷ノ動作ヲナスニ適セシムベシ

(3) 會場ニハ學校醫(學校醫ヲ缺ク所ハ其他ノ醫)ノ出席ヲ求メ救急治療ノ設備ヲナスベシ

(4) 開會當日聯合各村ニ於テ案内スヘキ參觀者ノ標準左ノ如シ

學年	競走距離	甲	乙	丙
尋常五男	二百米突	四十秒以内	四十五秒以内	四十五秒以上
尋常六男	二百米突	四十秒以内	四十五秒以内	四十五秒以上
同女	百辛米突	三十五秒以内	四十秒以内	四十秒以上
高等一男	三百米突	六十秒以内	六十五秒以内	六十五秒以上
高等二男	三百米突	六十秒以内	六十五秒以内	六十五秒以上
同女	二百米突	四十秒以内	四十五秒以内	四十五秒以上

得點ハ甲ヲ三點、乙ヲ二點、丙ヲ一點トシ平均點ハ

阿武郡小學校聯合運動會第何部長
但シ案内者ハ 阿武郡何々小學校長
阿武郡何々小學校長

- (5) 會場諸般ノ設備ハ實質ヲ主トシ危險ヲ豫防スルコトニ細心ノ注意ヲ加フベシ
- (6) 運動ニ參加セサル兒童ト雖モ聯合區域内ニ於テハ適宜參觀セシムルコトヲ得
- (7) 開催當日ハ可成保護者ノ多數參觀ヲ勸誘スヘシ

◎報德會組織懇談會

阿武郡教育會ニ於テハ報德會ヲ組織スルノ目的ヲ以テ先ニ郡内二万有余ノ各戸ニ對シ報德會組織ノ手引(別記)ナルモノヲ配付シ有名ナル鹿兒島市豫備陸軍中佐花田仲之助氏ヲ聘シ本月二日ヨリ全十八日迄郡内各町村ヲ巡回シ懇談會開催中ナルカ至所非常ノ盛況ヲ呈シ聽衆ニ感動ヲ與ヘ續々報德會ノ成立ヲ見ルハ本郡人心

ガ明治二十三年十月三十日教育ニ關スル御勅語ヲ下サレテ、國民ノヨルベキ所、歩ムベキ道ヲ示シニナツタニモ拘ラズ、トモスレバ學校ノ生徒ニノミ下サレタモノノ様ニ考ヘテ居ルモノガアルカラ、是非トモ國民一般ニ知ラシメテ、共ニ道ヲ守ルコトノ出來ル様ナ方法ヲトシナケレバナラヌトイフオ考ヲ持ツテ居ラレ、種々トオ考ヘニナツタ末、遂ニ三十四年四月二十日ニ、鹿兒島市ノ山手町ノ一部ニ平方報德會トイフ會ヲ起サレタノガ始マリデ今デハ全國ニ其會ノ數ガ、二千ノ多キニ上リ、各地各會何レモヨイ成績ヲ擧ゲテキルトイフコトデアリマス。

◎本會ノ必要ナル理由

善キ部落モ善キ町村モオ互一人一人ノ心掛ヤ行ニヨツテ出來ルモノデアツテ、人心ノ改良トイフコトガ、何ヨリ大切デアリマス。明治天皇様ハ、深クコレヲ御軫念遊シテ、教育ノ御勅語ヲ下シ賜ハリマシタ。サレバ吾々國民タルモノハ、御勅語ノ御趣旨ヲ踐ミ行フ會ヲ設ケ、各自身ヲ修メ德ヲ磨キ以テ、御旨ニ副ハナケレバナラヌ。コレ本會ノ必要ナル所以ノ第一、凡ソ人間

連署スル
其町村小學校長連記ノ事例セバ生雲村ノ如キハ生雲尋常高等小學校長、藏目喜尋常小學校長連名ニスルガ如シ

報德會組織ノ手引

今度有名ナル鹿兒島市ノ豫備陸軍歩兵中佐花田仲之助殿ヲオ招キシテ、報德會ノ御話ヲ聞ク事ニイタシマシタ。今度ノハ普通ノ講演會トハ趣ガ違テ居リマス。中佐殿ノヤツテ居ラレル報德會トイフ會ハ、人ノ心ヲ改メ世ノ中ノ道ヲ進ムルニ、極メテヨイヤリ方デ有マスカラ、コノヤウナ會ヲ起シテ貫ヒタイト思フノデ、ソノ趣意ヤ、ヤリ方ヲオ話シテ頂クノデアリマス。ソレデ前以テコノ會ノ組織ヲ大畧オ知ラセシテ置キマスカニ必ズコレヲ讀ンデ置イテイタダキタイノデアリマス

◎報德會ノ沿革

本會ハ鹿兒島縣鹿兒島市ニオ出ニナル、豫備陸軍歩兵中佐ノ花田仲之助トイフオ方ガ早クカラ、明治天皇様ガ萬物ノ長トシテ、鳥ヤ獸ト異フ譯ハ、恩ヲ知ルトイフコトニアル。吾々ハ天子様ヤ、親ヤ、神佛ハモトヨリ、天地ノ間、凡テノモノニ皆恩ヲ受ケテ非ル。コノ恩ニ報ユベク仁義道德ヲフンデ行クコトハ、自然ノ道デ、且ツ人ノ人タル道デアアル。コレソノ必要ノ第二、然ルニコノ行ハナケレバナラヌ善イコトヲ、何故行ハナイカトイフニ、他人モ行ハヌカラ行ハヌトイフ風デアアル「旅ハ道ズレ世ハ情」トモ申シマシテ、社會ヲ改良シヤウトスレバ、「濱ノ眞砂ノ共ミガキ」デ、多人數ノモノガ歩調ヲ一ツニシテヤラナケレバナラヌコレカ、ル會ヲ設ケル必要ノ第三デアリマス。

◎報德會ノ組織

借本會ノ組織ハ、外ノ會ト違ヒマシテ、會員各自ガヤラウトイフ決心ガ出來、實行ガ出來テ、ソレガ始メテ決議ニナルノデアリマシテ、會長トカ、副會長トカイフモノハナイ、只世話人トデモイフ様ナモノガアルハカリデアリマス。會員トイフノハ、ソノ會ノ區域内デ小學校兒童以下ノ小サイ子供ヲ除イタ外、老人モ、青年モ、男モ女モ皆會員トナルノデアリマス。會員ニ對

シテハ會費モ徵收イタシマセン、又、特別會員トカ、名譽會員トイフヤウナ區別モナイ、誠ニ組ミ立ノヤスイ會デアリマス。

◎報徳會ノ仕方

會員ハ會ノアル日ニハ、一家ニ只一人ノ留守ヲ置イテ、皆會場ニ集マルノデアリマス。ソレカラ、一同、君ガ代ヲ合唱シ、御影ニ對シ奉リテ、一同最敬禮ヲナシ、ソレカラ教育ノ御勅語ノ捧讀ガスミ、次ニ實行問題、即チ、會員ガコレカラヤツテ行カウトイフコトヲ定メ、皆ガヤラウトイフコトヲナレバ、ソノ時カテ一ヶ月間修業シテ見ルノデアリマス。ソレテ一ヶ月ノ後會ヲ開イテ、皆ガソノ實行ガ出來ルトイフコトニナルト愈々之ヲ實行事項トシテ、一同ノ者ガキメテ行フコトニナリ、決議録ニ載セルノデアリマス。若シ會員ノ内、幾人デモ行フコトノ出來ナイモノガアツタナラバ、又一ヶ月ノ間延期シテ、試験ヲスルノデアリマス。カクノ如クシテ、極ク手近ナ小サイコトカラ、實行シテ行クノデアリマス。物トイフモノハ、小サイコトガ積ツテ大キイコトガ成就スルモノデ、道徳上ノ實行モ亦

ソノ通りデ、小善ヲ積ンデ大徳ノ人トナルノデアリマスカラ、小サイト思フ善行モ、ソノ實行ガ大切デアリマス。

◎阿武郡各小學校尋常科兒童出席歩合順位(五年七月分)

學校名	出席百分例		本月	前月
	男	女		
野戸呂	九九、六四	九九、三二	一	一七
立野	九九、一八	九八、八六	二	一
佐々並	九八、九四	九七、〇三	三	一五
椿西	九八、八四	九八、六五	四	五
明木	九八、八二	九八、六二	五	六
福川	九八、五八	九八、四九	六	三
越ヶ濱	九八、六一	九八、六一	七	二

宇田	大島	福田	木間	持坂	相島	長高	三見	椿東	明倫	紫福	高瀬
九八、五三	九八、〇九	九八、〇六	九八、三九	九八、一六	九八、二八	九七、九五	九七、八二	九七、〇六	九七、八二	九七、二〇	九七、一九
九八、三一	九八、三一	九八、三一	九八、二八	九八、二二	九八、二二	九七、九二	九七、九二	九七、五二	九七、三二	九七、二八	九七、一九
八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九
九	一三	四	七	二八	一〇	八	二二	二二	二二	二〇	一一

多磨	龜山	川上	上小川	篠生	大井	徳佐	下小川	篠目	小川	嘉年	地福
九七、〇二	九八、二二	九五、一九	九七、〇六	九四、八六	九六、四二	九五、三五	九四、四八	九六、八九	九五、八九	九五、五〇	九四、六一
九六、六八	九八、二二	九五、四一	九七、〇六	九四、八六	九六、四二	九五、三五	九四、四八	九六、八九	九五、八九	九五、五〇	九四、六一
九六、八七	九六、七七	九六、三〇	九六、〇四	九五、九二	九五、六九	九五、六八	九五、〇三	九四、九五	九四、三四	九四、二〇	九四、一六
二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一
一八	一四	二九	二五	三〇	二五	二七	二四	二二	三一	三五	四一

閱覽圖書分類冊數										種別	八月中	九月中	計	
第一門	第二門	第三門	第四門	第五門	第六門	第七門	第八門	類書、叢書、雜誌、新聞、兒童讀物	和書					
神教書	哲學	教育學	文藝學	語文學	歷史傳記	地理紀行	國家學、法律、經濟、統計、社會	數理學	醫學	工學、兵學	藝術、產業	類書、叢書、雜誌、新聞、兒童讀物	和書	洋書
二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

阿武郡立萩圖書館外圖書閱覽狀況										種別	八月中	九月中	計
合計	和書	洋書	教員	學生	兒童	兒童	兒童	兒童	兒童				
合計	和書	洋書	教員	學生	兒童	兒童	兒童	兒童	兒童				
一、四七四	一、三三三	一、三三三	三	七	三	三	三	三	三				
三、〇九六	三、〇九六	三、〇九六	三	三	三	三	三	三	三				
四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	三	三	三	三	三	三	三				

總合計 出席步合 九五、四一 前月 九四、八〇

種別	八月中	九月中	計
鈴野川	九三、七五	九三、五〇	三二
奈古	九三、〇六	九三、三二	三三
半田	九二、〇四	九一、六五	三四
高俣	九三、四七	九一、四八	三七
白水	九〇、四八	九一、四〇	三二
見島	九三、一七	九一、三九	三九
吉部	九二、八三	九一、二八	三三
彌富	九一、六〇	九〇、六三	三六
育英	九〇、〇五	九〇、〇三	三八
藏目喜	八四、八九	八八、三七	四〇
生雲	八三、七二	八六、四七	四二

阿武郡立萩圖書館內圖書閱覽狀況										種別	八月中	九月中	計
合計	和書	洋書	教員	學生	兒童	兒童	兒童	兒童	兒童				
合計	和書	洋書	教員	學生	兒童	兒童	兒童	兒童	兒童				
一、四七四	一、三三三	一、三三三	三	七	三	三	三	三	三				
三、〇九六	三、〇九六	三、〇九六	三	三	三	三	三	三	三				
四、五七〇	四、五七〇	四、五七〇	三	三	三	三	三	三	三				

閱覽圖書分類冊數								種別
門一第	門二第	門三第	門四第	門五第	門六第	門七第	門八第	種別
神教書	哲學	文藝學	歷史傳記	地理紀行	國家學、法律、經濟、統計、社會	醫學	工學、兵學、藝術、產業	和書
和書	和書	和書	和書	和書	和書	和書	和書	和書
三	二	二	三	二	二	一	三	七月中
六	三	二	三	四	三	三	四	八月中
二	五	一	三	六	三	四	七	計

閱覽圖書分類冊數								種別
門一第	門二第	門三第	門四第	門五第	門六第	門七第	門八第	種別
神教書	哲學	文藝學	歷史傳記	國家學、法律、經濟、統計、社會	醫學	工學、兵學、藝術、產業	兒童讀物、雜誌、新聞	和書
和書	和書	和書	和書	和書	和書	和書	和書	和書
一	七	四	三	一	八	六	六	七月中
一	五	五	二	一	三	一	二	八月中
二	三	六	五	一	二	一	九	計

◎阿武郡立實科高等女學校近況

一園藝科ニテハ家兔及モルモット家禽眞鴨ノ飼養法ヲ實習セシメ養鶏養蜂ト共ニ畜産上ノ經驗趣味ヲ養成シツ、アリ蔬菜花卉種子ハ播種ヲ終リ新購入ノチユリップアネモネヒヤシンス等ノ球根花卉モ植付タリ秋菊ハ優良ナル品種多ク目下成育良好ニシテ花蕾ヲ生シタレバ紀念園植出ノ際ハ見事ナラント期待セラ

ル果樹中葡萄ノミルスハ樹勢強健果實ノ收量多ク優良ナル品種ト思ハレタリ

一養蠶部ニテハ夏蠶繭四貫匁ヲ乾燥貯藏中ニシテ十月頃上級生ヲシテ製糸ノ實習ヲサシムル等ナリ

一体育ノ方面ニテハ毎月生徒各自ニ体力ヲ測ラシメ体力表ニ記入セシムルコトセリ自己身體要部ノ發育強

備考 開館日數三十日間 一日平均人員 四十三人
七月廿七日ヨリ八月廿九日迄開館 内休暇日數四日間

閱覽圖書人別							合計
教員	女學生	女學生	兒童	兒童	公務員	其他	合計
員	員	員	員	員	員	員	和書
五	九	七	一	八	六	三	和書
一	三	三	七	三	二	一	洋書
二	六	二	四	三	一	一	合計
三	九	五	一	一	一	一	計

◎阿武郡立萩圖書館臨時閱覽所圖書閱覽狀況

合計		七月中	八月中	計
和書	一〇九	一〇九	二四	一三三
洋書	一七	一七	三	二〇
合計	一二六	一二六	二七	一五三

健ノ狀況ヲ自覺セシムル上ニ於テ其効多キヲ認ム
最近武術体育ノ趨勢ニ鑑ミ九月ヨリハ薙刀体操ヲ体
操時間中ニ加入スルコト、シ精神身体ノ修練上漸次
益見ルベキモノアリ尙十月ヨリハコレト相俟テ鏡心
流薙刀術ノ型ヲ課外トシテ上級生ニ教授スルコト、
セリ

◎財務

人ハ已レニ由リテ他人ヲ判ス

◎縣稅主任集會

(大正五年九月廿五日開催)

注 事 意 項

一 賦課徵收ニ關スル件
一 課稅個數ハ課稅ノ根基トナルヘキモノニ付地租額
營業雜種ノ個數國稅額(附加稅徵收スヘキ)戶數等

五 諸營業、雜種ノ申告ハ課稅ノ根基トナルモノタル
ハ言ヲ俟タサルモ右ノ内間々一方ノ手續ヲ了シ
申告書ノ記載ヲ脱スルモノアリテ自然脫稅者ヲ生
スルコト有之然ルニ町村ノ申告簿ヲ見ルニ未タ完
全ナル設備ナキ向有之從テ異動報告ニ相違ヲ來ス
ニハアラサル哉右ニ付テハ本年春期集會ニ於テ指
示セシ申告簿ヲ作製シ正確ナル根基ヲ作ラレシ
六 毎期初日開始ノモノニシテ往々申告書ノ進達ヲ遲
延セラル、向有之調定上差支ヘテ生スル場合不少
又調定猶豫ノ報告ハ毎期末報告書ニ添付提出セラ
ルヘキ筈ナルニ往々添付漏ノモノ有之爲ニ課稅
個數ニ差響ヲ生スル場合不少候條必ス遺漏ナキ様
注意セラルヘシ

七 分賦額報告ハ是亦調定ノ根基トナルベキモノナレ
ハ法定之期日以内ニ必ス議定額ヲ報告セラルヘキ
ハ勿論間々違算錯誤等有之又、諸商及料理屋、飲食
店等ノ區別漁業稅ノ等級ノ區別等記載ナキモノ其
數ノ相違アルモノ等有之往々復々重々非常ノ手
數ヲ煩シ調定ニ差支ヘ候モノ有之充分注意セラル
ベシ

與

ノ調査ニ當リ粗漏ノ取扱ナキ様注意セラルベシ殊
ニ前期ト大ナル相違アル場合ハ其理由ヲ附記セラ
ルヘシ

二 地租割ハ追加賦課ノ發布アリタルニ付後期ニ於テ
ハ加算額ヲ以テ賦課スヘキモノナリ
即チ宅地ハ後期分ノ七錢一厘五毛ニ貳錢六厘ヲ加
ヘ計九錢七厘五毛ヲ其他ハ後期分ノ拾七錢六厘ニ
六錢四厘ヲ加ヘ貳拾四錢ヲ以テ課率トス
又戶數割ハ後期分ノ七拾八錢ニ追加ノ貳錢八厘ヲ
加ヘ八拾錢八厘ヲ一戶ノ課率トス

三 法人建物ノ使用ヲナスモノ檢學スルニ非ラザレバ
届出セサルモノ多シ右ハ義務發生當時夫々申告セ
シメラルベシ

四 人力車ハ自用、營業ノ二種アリ營業ハ警察署ノ通
知ニ依ルモノニシテ自用車ハ町村申告ニ依ルモノ
ナリ然ルニ自用人力車ニ在リテモ警察官署ニ申
告スヘキモノノ如ク誤リ町村役場ヘ申告セサル向
有之此等ハ所有ノ當時速ニ申告方注意セラルベシ
但シ自用人力車ハ申告書ニ自用人力車ト記載ヲ要
ス

八 報告期限ニ就テハ從前期限表之配付又毎月期限配
付アルニ依リ遅延セラルベキ筈ナルベキニ往々
督促數回ニ及ホスモノアリ又或ハ徵收期限ニ差支
ヘテ生スル場合有之候條嚴重注意セラルヘシ

九 他所轄ヘ移轉ノ申告ニ接シ通知書ヲ發セラル、場
合ニ於テ一定ノ課率ニ依ラサル課稅ノモノニシテ
其稅金額之記載漏ノモノ多シ將來稅額記載方殊ニ
注意セラルヘシ

十 日稅ノ徵收ハ町村主管ニ屬シ申告ニ依リ直ニ徵收
セラルベキ筈ニ付調定ノ際充分ノ注意ヲ拂ヒ其科
目區別又調定收入報告ノ遅延セザル様注意ヲ要ス

二 拂込ニ關スル件

拂込ハ金庫直接拂込及郵便振替拂込之ニ種アリテ
町村ノ拂込上多大ノ便益有之以テ徵稅上幾多ノ餘
裕ヲ生シタル次第ニシテ徵稅ノ完納ニ一層督勵ヲ
加ヘラルルハ勿論其拂込期日ノ如キモ嚴重ニ確守
シ尙振替ニ就テハ年度區別科目滯納ノ摘要等遺漏
ナキ様注意ヲ要ス

三 諸報告其他雜取扱事務ニ關スル件

一 異動報告書ハ營業、雜種ニ區別シ科目ハ明治四十

四

一年三月三日縣令第十三號課目課額表ノ順序ニ依
リ必ス記載セラルヘシ

一 檢學ニ係ルモノニシテ申告ニ接シタルトハ單ニ鑑
札ノ請求ニ止マルヲ以テ申告書ニ記載ヲ要セス
申告簿及臺帳ノミニ登錄シ檢舉通知書ニハ届出濟
否ノ整理ヲナシ其月分異動報告書ニ添付提出セラ
ルベシ

三 賦課外地租額調書ハ異動ナキ限リ提出ニ及ハス
四 滯納報告ハ大正三年三月十日縣令第十七號第十九
號様式ニ依ルヘキ筈ナルニ其記載ヲ誤ルモノアル
ノミナラズ或ハ納稅者ノ相違セルモノ等有之爲
ニ強制處分上多大ノ不都合ヲ生シ、場合有之候條
嚴重注意セラルヘシ

◎兵 事

準備ヲ爲スハ既ニ半戰セルナリ

峠内ノ大空ヲ或ハ高ク或ハ低ク約二十二分間飛翔二周
シテ觀衆ヨリ浴セタル萬歲聲裡ニ無事着陸シタリ而シ
テ第二回飛行ハ午後二時四十八分ヨリ開始サレ第一回
(午前)ノ如ク萩四峠内ノ空中ヲ飛翔シ更ニ鶴江臺ヲ越
ヘ海上方面ニ至リ遠ク越ケ濱ナル笠山ヲ一周シテ高低
遲速隱見出沒些ノ故障ナク巧妙自在ニ操縦シテ最後ニ
菊ヶ濱附近ノ波上恰モ鷗ノ如ク低空飛行ヲナシテ着陸
目標上ニ下降ヲ終リ井上中尉ハ觀衆一同ヲ機体ノ附近
ニ集合セシメ機上ニ於テ大要ノ説明ヲ與ヘ觀覽者ノ參
考ニ資シタリ

因ニ萩飛行大會々々長能美陸軍少將ハ全副會長内田中
佐ヲ始メ各發起人等整列久能中將立會ノ下ニ井上中
尉ニ對シ純銀製メタルノ目錄ヲ又阿武郡立實科高等
女學校内南園會ヨリハ花籠ヲ贈呈シ其ノ成功ヲ稱揚
シ二萬有余ノ觀衆ハ會長能美少將ノ唱フル萬歲ノ聲
ニ和シ天地爲ニ震憾セリ

◎在郷將校兵棋演習

九月二十七八兩日ニ涉リ本郡會議事堂ニ於テ萩町附近
及篠生、須佐、大井諸村在郷將校二十一名參集山口聯隊

◎軍事講演

九月二十一日萩町明倫尋常高等小學校講堂ニ於テ在郷
軍人青年會員公職員其他一般ニ對シ今回國民飛行會飛
行機飛翔ニ付來萩ノ長岡中將久能中將ヨリ講演ノ筈ナ
リシガ生憎長岡中將ハ感冒ノ爲咽喉ニ故障アリシ爲單
ニ來萩ノ挨拶ニ止メラレ久能中將ヨリ航空機ニ關スル
詳細ナル説明アリテ後長岡中將ニ代リ歐州大騷乱ノ狀
況并ニ獨逸魂ノ發揮向上青少年婦人ノ活動振持久ノ
精神旺盛ナルコト等反覆詳細ニ説キ去リ説キ來リ數時
間ニ亘ル講演モ人ヲシテ些ノ倦怠ヲ抱カシメス深甚ナ
レ感動ヲ與ヘタリ

◎劍號飛行

九月二十五日萩町飛行大會ノ發起主催ニ係ル國民飛行
會所屬劍號ハ午前十時菊ヶ濱砂地飛行場格納庫ヨリ引
出サレ操縦者井上中尉ハ數名ノ機士ト共ニ機体及索引
力ノ精細點檢ヲ行ヒタル後井上中尉ハ徐々々ニ搭乘シ
滑走ヲ始メ滿場ノ拍手喝采ニ迎ヘラレ離陸高ク中空ニ
飛ヒ觀衆一同呆然タルヤ既ニ機体ハ指月山方面ヨリ四

區司令官小野田大佐統裁官トシテ和田中尉ヲ隨ヘ出張
圖上兵棋演習ヲ執行セラレタリ

◎幼年學校生徒採用

本郡ニ於ケル本年召募陸軍中央幼年學校豫科及陸軍地
方幼年學校生徒志願者中採用セラレ九月一日入校セル
者左ノ如シ

- | | |
|------------|---------|
| 陸軍中央幼年學校豫科 | 萩 町 |
| 廣島地方幼年學校 | 山 中 晃 |
| 熊本地方幼年學校 | 須 子 正 雄 |
| 大坂地方幼年學校 | 櫻 井 敬 三 |
| 廣島地方幼年學校 | 石 田 威 |
| | 紫 福 村 |
| | 岡 正 彦 |

◎勸 業

雜草ハ市場ニ生長セス

兎

◎畜牛品評會成績

本年度町村聯合物産品評會ノ内畜牛品評會ハ九月五日佐々並村ニ開催セルヲ始メトシ全月三十日見島村ニ開催セルモノヲ以テ全部終了セリ其成績左ノ如シ

主権町村名	出品頭數	受賞頭數				受賞歩合 %	參觀人員
		一等	二等	三等	四等		
佐々並村	五二〇三	三	一	二	一	五、五	一、〇〇〇人
地福生村	八三三六四	三	一	一	一	一〇〇、〇	一、五〇〇
高俣村	六三三三〇	四	一	一	一	九〇、〇	一、五〇〇
計	一、〇七三	一〇	三	四	三	四七、七	

主権町村名	出品頭數	受賞頭數				受賞歩合 %	參觀人員
		一等	二等	三等	四等		
万田村	一〇五五四四	三	一	一	一	四七、二	二、〇〇〇
大井村	九七二二三三	八	六	二	一	五〇、〇	一、四〇〇
萩町	六三二五四四	三	一	一	一	五〇、〇	五〇〇
計	二、〇六一	一四	一〇	四	三	四七、三	

總計	五九	二四	四七	八〇	二七	二六	四九	八、〇〇
----	----	----	----	----	----	----	----	------

備考 六島村ハ風波ノ爲メ出品スルコト能ハサリシヲ遺憾トス
 今回ノ品評會ニ於テ出品牛ノ多數ハ本郡産改良和種ニシテ能ク統一セラレ体格、資質、飼養、管理何レモ當チ
 得タルモノ多ク殊ニ一等受賞牛二十四頭中十九頭ハ本郡産牛ニシテ從來ノ勁敵タル島根縣産牛ヲ凌駕シ得タ
 ルハ大ニ誇リトスルトコロニシテ當業者熱心ノ程度ヲ察知シ得ヘキナリ就中嘉年村青木兼松出品改良和種牡
 牛及奈古村米原佐吉出品全種牝牛ハ共ニ役肉用改良和種トシテ殆ソド改良ノ極点ニ達シタル優秀成モノニシ
 テ當業者ノ參考トナリタル点少ナカラサリシナリ而シテ參觀者通計八千人ニ達シタルハ全種品評會ニ於テ實
 ニ異數トスルトコロニシテ僅々一日宛ノ開催ナリシニモ係ハラス其功果偉大ナルモノアリタルヤ明カナリ

◎種牡牛検査成績

大正五年度種牡牛定期検査成績左ノ如シ

村名	受検査數	合格	不合格
椿郷東分	二	二	〇
山田	一	一	〇
三見	二	二	〇
川上	一	一	〇
篠生	一	一	〇
生雲	二	二	〇
地福	一	一	〇
徳佐	二	二	〇
嘉年	一	一	〇
吉部	一	一	〇
紫福	二	二	〇
大井	一	一	〇
奈古	一	一	〇

町村名	種付數	町村名	種付數
宇田郷	一	福賀	二
福賀	二	須佐	三
彌富	二	小川	一
小川	一	六島	五
六島	五	見島	三
見島	三	計	三三

◎町村別畜牛種付數

大正四年九月以降全五年八月迄滿一ケ年間町村別畜牛種付數左ノ如シ

町村名	種付數	町村名	種付數
萩山	七	椿郷東分	三
山田	三	明木	四
見田	一		
一四			
五			
三			

町村名	種付數	町村名	種付數
佐々井	一五	大井	三
川上	三	奈古	五
篠生	三	宇田郷	二
生雲	六	福賀	三
地福	三	須佐	四
徳佐	五	彌富	二
嘉年	四	小川	一
高俣	六	六島	四
吉部	四	見島	一
福川	七	計	一、五〇
紫福	一六		

本表ノ外徳佐、嘉年、彌富、小川四ヶ村ヨリ島根縣内ニ於テ種付ヲ爲スモノ約百頭、笠山牧場種付數外三十五頭ヲ加フルトキハ總計一千六百四十五頭トナル其八五%ヲ生産數ト見做ストキハ一千三百九十八頭トナリ之レニ郡外ヨリ入ル妊牛及移入朝鮮牛ノ分娩スルモノ、概數百五十頭ヲ加フルトキハ一ケ年本郡産犢數ハ一千五百四十八頭トナル

見島	六島	田万	小崎	彌富	須佐	福賀	宇田	奈古
會員割	農會未設	反會別員割	地反會別員割	地反會別員割	地反會別員割	地反會別員割	地反會別員割	地反會別員割
一人ニ付	一人ニ付	田一名ニ付	百耕地一名ニ付	壹反圓ニ付	拾耕地一名ニ付	百耕地一名ニ付	百圓ニ付	壹耕地一名ニ付
拾錢	拾八錢	拾八錢	壹參厘	壹壹五錢七七厘	四壹錢	拾六錢四厘	貳錢五厘	壹錢五厘
五月五日	五月廿五日	四月三十日	四月末日	六月三十日 十二月十五日	四月三十日	五月卅一日	四月三十日	四月三十日

英

◎米作豫想

本年豫想高	前年實收高	平年作	八月廿六日調査
一三七、四七六石	一四六、七六二石	一四三、二二三石	增減割合
前年實收ニ比シ	前年實收ニ比シ	平年作ニ比シ	增減割合
減六歩四厘	減六歩四厘	增二歩五厘	

記事 植付後降雨月余ニ亘リ爲メニ分蘖少ナク徒長ノ感アリ其後ハ晴天ノミニ偏シ又六月末水害ヲ蒙リタル地アリ爲メニ前年ニ比シ減收ヲ示スモ今後天候順ヲ得ハ前記ノ收穫アル見込ナリ

本年豫想高	前年實收高	平年作	九月廿三日調査
一四〇、〇七九石	一四六、七六二石	一三四、二三三石	增減割合
前年實收ニ比シ	前年實收ニ比シ	平年作ニ比シ	增減割合
減四歩五厘	減四歩五厘	增四歩四厘	

記事 第一回豫想報告後ハ天候順潮ニシテ前記ノ如ク增收ノ見込ナリ

◎夏蠶繭共同販賣狀況

五

村別	施行月日	平均	平均	平均	平均	量	金額
生雲村	七月二十一日	四三	三〇	四二	四二	六五、八四〇	二六四、一三三
地福村	八月二日	五三	三七二	四七三	四七三	八〇、四三〇	三三三、三五六
生雲村	八月三日	五四	三九〇	四七〇	四七〇	五三、四六六	二六〇、一四四
德佐村神角	八月四日	五四	四六二	五二二	五二二	一一八、三七〇	六三三、一七三
高俣村	八月七日	五七六	四六六	五四三	五四三	一、二八、三七〇	六三三、一七三
嘉年村	八月八日	五五〇	四六七	五二七	五二七	一、二八、三七〇	六三三、一七三
合計		平均 五六六	平均 四二五	平均 四八九	平均 四八九	三八、二〇六	一、五四九、八〇五

購買入者ハ信州片倉組 九州二日市山十組 津和野購買組合其他數人ノ仲買人アリタリ
 一般數量少量ナルハ拔賣ノ者半數以上ナル故ナリ
 此外宇田郷村、奈古村、吉部村等共同販賣ヲナセシモ郡ヨリ立會セザルニヨリ不明ナリ

◎夏蜜柑調査會

夏蜜柑ニ對スル改良策決定ノ爲メ夏蜜柑調査會ヲ組織シ左記五十一名ニ對シ調査委員ヲ囑托ス

萩町 内田一心 菊屋剛十郎
 安田仲之助 金子純介
 石津彦之進 國弘榮一

椿郷東分村

淺海半助 本永吾三
 口羽節介 石川貞吉
 中島兼三郎 花村久之進
 山中三吉 秋山百合穂
 井山藤一 末永光藏
 井上茂 鈴木美徳
 松尾文一 竹中常吉
 大谷登 中村清二郎
 植村市太郎 岡崎清太郎
 小野村兼吉 河上岩穂
 平野斌 藤田榮吉
 山本卯吉 荒地政作
 水津淳次 立野小五郎
 山根鐵藏 前田豊作
 大田民藏 岩崎孝
 渡邊正行 原田三吉
 來島谷藏 植村三吉
 山中貞七 波多野次郎
 阿部豐熊 村上千代藏
 川上金藏

大井村 山根辨作 伊藤準太郎
 金子元吉 松尾代作
 田中半次郎 森重清右衛門
 第一回調査會ヲ九月十八日午前九時ヨリ阿武郡役所議事堂ニ於テ開催ス其提出案及狀況左ノ如シ

提出案

本郡特産ノ夏蜜柑ハ近時他府縣ノ生産増加トチイブル柑貯藏方法進歩ノ爲メ其ノ影響ヲ受ケ價額低落シ前途誠ニ憂慮ニ堪ヘズ依ツテ茲ニ調査會ヲ開キテ各位ノ意見ヲ聞キ大ニ改善刷進ノ實ヲ擧グルニ努力センコトヲ期ス

研究事項

- 一、栽培並摘採ニ關スル改良方法
 - 二、容器包装ニ關スル改良方法
 - 三、販賣方法ノ改善市場設置ノ可否
 - 四、輸送統一ノ方法
- 會議ノ結果栽培部(栽培並ニ摘採ニ關スル改良方法ヲ研究ス)及販賣、輸送、其他ノ部(容器包装ニ關スル改良方法、販賣方法ノ改善、市場設置ノ可否、輸送統一ノ方

法ヲ研究スノ二部ニ分チ委員ヲ選定シ調査ヲナスコトニ決定ス其委員氏名左ノ如シ

栽 培 部

萩 町	石津彦之進	萩 町	中島余三郎
萩 町	本永 吾三	椿郷東分村	小野村象吉
椿郷東分村	中村清二郎	椿 村	荒地 政作
椿 村	水津 淳次	山田村	渡邊 正行
三見村	阿部 豊熊	大井村	伊藤準太郎

計 十 名

販賣、輸送
其他ノ部

萩 町	安田仲之助	萩 町	金子 純介
萩 町	花村久之進	萩 町	山中 三吉
萩 町	井山 藤一	椿郷東分村	大谷 登
椿郷東分村	竹中 常吉	椿 村	河上 岩槌
椿 村	山根 鐵藏	山田村	前田 豊作
山田村	來島 谷藏	三見村	川上 金藏
三見村	植村 三吉	大井村	松尾 代作
大井村	田中半次郎		

計 十五 名

◎阿武郡酒造組合總會

十月七日阿武郡役所議事堂ニ於テ開催大正四年度決算報告、大正五年度豫算ノ決議、組合長ノ改選等ヲ附議ス組合長ニハ南方良輔氏再選ス

◎阿武郡醬油釀造講習會

九月五日ヨリ全月十一日迄七日間開催講師山口縣工業技師岡隆太郎講習生十三名ニシテ醬油釀造上ニ付テノ理論及實地指導ヲナス



大正五年十月十九日印刷
全 年全月二十日發行

發行所 山口縣阿武郡役所

山口縣阿武郡萩町第二千二百六番屋敷

印刷所 株式會社萩響海館

